

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票

(令和4年度実績)

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標		施策の方向性		事業			
				通番	事業名	ページ*	担当課
1	健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する	1-1	子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて、生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける	★1	健康情報のポスター作成	5	健康推進課
				★2	健康講座	5	
				3	個別相談	5	
		1-2	自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)	★2(再)	健康講座	6	
				3(再)	個別相談	6	
				4	子どもの歯を守る連絡会	6	
		1-3	自らの健康状態を把握するために行動を起こす	5	健康診査(若年層, 30歳代, 生保等)	7	
				6	特定健康診査(国民健康保険, 40歳以上)	7	
				7	後期高齢者医療健康診査	8	
				8	人間ドック・脳ドック(30歳以上)	8	
				9	特定保健指導	8	
				10	糖尿病性腎症重症化予防	9	保険年金課
				★11	がん検診	9	健康推進課
				12	結核検診	9	
				13	肝炎ウィルス検診	9	
				★14	歯科健診	10	
				★15	40歳・60歳検診勧奨事業	10	

*国分寺市健康増進計画後期実施計画該当ページ

基本目標		施策の方向性		分野		事業			
						通番	事業名	ページ	担当課
2	健康的な生活習慣を身につける	2-1	すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	2-1-1	食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」	★1(再)	健康情報のポスター作成	11	健康推進課
						★2(再)	健康講座	11	
						16	「天平メニュー・国分寺ごはん」の活用	12	
						17-a		12	
						17-b	栄養講座・食育講座	12	公民館課
						17-c		12	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						18	個別栄養相談	13	健康推進課
						19	離乳食講習会	13	
						★20	両親学級・乳幼児健診など母子保健事業での情報提供	13	
						21	若い世代への食の情報提供チラシ配布	13	
						22	一般介護予防事業	14	高齢福祉課
						23	摂食指導	14	子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)
						24	給食を通じた乳幼児期の食育指導	14	子ども子育て事業課(保育園)
						25	保育園内における野菜等の栽培	15	
						26	芋ほり等の農業体験	15	
						27	給食地域交流会	15	
						28	①市民農園 ②市民農業大学	15	経済課
						29	援農ボランティア募集	16	
						30	直売所マップの配布	16	
						31	地場産農畜産物の周知	16	
						32	農業体験	17	
						33	農業体験農園	17	
						34	農業祭	18	
						35	JA協賛調理教室	18	
						36	児童館の料理教室	18	子ども子育て支援課(児童館)
						37	食育指導	19	学務課
				2-1-2	身体活動・運動	★38-a	運動講座	20	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						★38-b		20	健康推進課
						39	グループサークル団体登録	20	社会教育課
						40	プレイステーション整備・運営(野外活動)	21	子ども子育て支援課(児童館)
						41	スポーツ大会開催	21	スポーツ振興課
						42	スポーツ推進委員によるイベント	21	
						22(再)	一般介護予防事業	22	高齢福祉課
						43	地域生きがい交流事業	22	
						44-a	体育館等個人開放・団体貸出し	22	健康推進課
						44-b		23	スポーツ振興課
						44-c		23	公民館課
						44-d		23	地域共生推進課
						44-e		23	協働コミュニティ課

2	健康的な生活習慣を身につける	2-1	すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援	2-1-3	こころの健康・休養・睡眠	45	①総合相談 ②フリートークング	24	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
						46	メンタルヘルス講座	24	健康推進課
						★47	メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」	24	
						48	心の健康相談(精神保健相談)	25	障害福祉課
						49	妊産婦新生児訪問	25	健康推進課
						50	ゲートキーパー養成講座	25	
				2-1-4	飲酒	46(再)	メンタルヘルス講座	26	
						51	アルコール個別相談	26	
						★52	両親学級(妊娠中の飲酒のリスクを情報提供)	26	
						★53	アルコールによる健康問題に関する情報提供	27	
				2-1-5	喫煙	★54	喫煙及び受動喫煙のリスクや禁煙外来についての情報提供	28	
						★55	両親学級(喫煙のリスクを情報提供)	28	
				2-1-6	歯と口の健康	★14(再)	歯科健診	29	
						56	口腔機能向上健診	30	
						★57	①乳幼児・2歳児歯みがきクラス ②成人講座	30	
						58	歯科医療連携推進事業	30	
						59	個別歯科相談	31	
						60	歯と口の健康週間事業	31	
						4(再)	子どもの歯を守る連絡会	31	
						★15(再)	40歳・60歳検診勧奨事業	31	
						22(再)	一般介護予防事業	32	高齢福祉課
						61-a	歯科健診	32	子ども子育て事業課(保育園)
						61-b		32	学務課
						61-c		32	子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)
						62	ほけんだよりの活用	33	子ども子育て事業課(保育園)
						63-a	歯みがき指導	33	
						63-b		33	学務課
						63-c		33	子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)

基本目標		施策の方向性		事業			
				通番	事業名	ページ	担当課
3	地域の中で健康づくりを活性化する	3-1	地域のつながり強化	64	すくすくこくぶんじ	34	子ども子育て事業課(保育園)
				65	①職場体験 ②センターまつり ③クリスマス会 ④小学生社会科見学	34	子育て相談室(子ども家庭支援センター)
				66	ファミリー・サポート・センター事業の広報活動	35	
				67-a	出前講座	35	健康推進課
				67-b		35	子ども子育て事業課(保育園)
				67-c		35	高齢福祉課
				68	自治会・町内会連絡会	35	協働コミュニティ課
				69	地域センターまつり(5館)	36	
				70	地域センターだよりの発行協力	36	
		3-2	地域での健康づくり活動の支援	71	自主グループとの連携、社協との連携	37	高齢福祉課
				72	地域センター登録団体の管理	37	協働コミュニティ課
				73	利用者協議会	37	
				★74	市民活動フェスティバル	37	
				75	スポーツ登録団体の管理	38	スポーツ振興課
				44(再)-a	体育館等個人開放・団体貸出し	38	健康推進課
				44(再)-b		38	スポーツ振興課
				44(再)-c		39	公民館課
				44(再)-d		39	地域共生推進課
				44(再)-e		39	協働コミュニティ課

基本目標		施策の方向性		事業			
				通番	事業名	ページ	担当課
4	適切な情報を得られる環境づくりをすすめる	4-1	対象者・年齢層に応じた情報の発信	76	情報発信	40	各課(健康推進課)
				76		40	各課(子ども子育て事業課)
		4-2	社会状況やニーズに応じた適切な情報内容	76		40	各課(子ども子育て支援課)
				76		40	各課(高齢福祉課)
				76		40	各課(子育て相談室)
				76		40	各課(社会教育課)
				77	情報集約	40	健康推進課
				77(2)		40	協働コミュニティ課

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-1子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて、生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方が良いかや、どのような調理が必要かについての知識がある人の割合『十分に・どちらかといえば知識がある』	66.7%	80.3%	『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった場合の数値

今後の方向性・取組
子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実を検討していく。

通番	★1	所管課	健康推進課			
事業名	健康情報のポスター作成					
事業概要	市内薬局等に健康講座や、食育などの情報をポスターにて掲示し、市民に広く周知する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	市内薬局への聞き取り	市内薬局への聞き取り	市内薬局への聞き取り			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市内薬局42か所・市施設7か所(公民館等)に前期、後期に1種類ずつ掲示。	市内薬局24か所(薬剤師会会員)・市施設7か所(公民館等)に前期、後期に1種類ずつ掲示。	市内薬局 前期24か所後期26か所(薬剤師会会員)・市施設7か所(公民館等)・市HPに前期、後期に1種類ずつ掲示。閲覧用二次元バーコードを食育リーフレットに掲載。	市内薬局前期25か所、後期26か所(薬剤師会会員)・市施設7か所(公民館等)・市HPに前期、後期に1種類ずつ掲示。閲覧用二次元バーコードを食育リーフレットに掲載。			市内全薬局及び市施設に、前期、後期1種類ずつ年間を通してポスターを掲示。
「働き盛り」世代等への取組	未実施	未実施	未実施			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	連絡会等がなくなり市薬剤師会登録薬局のみでの掲示だった。薬剤師会等と相談し、掲示箇所を増やしていく。	薬剤師会登録薬局2か所増、市HP掲載により、掲載箇所を増やした。今後、リーフレット等への閲覧用二次元バーコード掲載を増やしていく。	薬剤師会登録薬局1か所増。今後も、リーフレット等への閲覧用二次元バーコード掲載を増やしていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-1子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて、生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方が良いかや、どのような調理が必要かについての知識がある人の割合『十分に・どちらかといえば知識がある』	66.7%	80.3%	『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった場合の数値

今後の方向性・取組
子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実に検討していく。

通番	★2	所管課	健康推進課			
事業名	健康講座					
事業概要	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート	参加者へアンケート	参加者へアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
健康講座 年10 回 食育講座 年3 回	健康講座 年7回 食育講座 年1回 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のた め4回中止。緊急事 態宣言中の1回は個 別対応で実施)	健康講座 年11回 食育講座 年3回 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のた め1回中止)	健康講座 年12回 食育講座 年3回			健康講座 年10 回以 上 食育講座 年3 回以 上
「働き盛り」世代等 への取組	参加しやすい土日に 開催	参加しやすい土日に 開催	参加しやすい土日に 開催			
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	国・市の方針に従い実 施可否を考え、状況に 応じ講座形式ではない 健康教育も検討してい く。	感染症対策を行いな がらできる限り実施し た。参加困難な方向け に、オンラインや動画 配信等の実施方法を 検討。	感染症対策を行いな がらできる限り実施し た。参加困難な方向け に、オンラインや動画 配信等も実施。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-1子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて、生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の目標	生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方が良いかや、どのような調理が必要かについての知識がある人の割合『十分に・どちらかといえば知識がある』	66.7%	80.3%	『どちらかといえばない』と答えた人の半数が「知識がある」となった場合の数値

今後の方向性・取組	
子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けられるよう、市広報等従来の手段における啓発を充実するとともに、駅や商業施設等との提携や情報通信メディアなどの活用など、日常生活の中で市民が健康に関する情報に触れられる機会の充実に検討していく。	

通番	3	所管課	健康推進課			
事業名	個別相談					
事業概要	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法と実施	相談後の反応 実施	相談後の反応 実施	相談の反応 実施			
平成30年度(現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
保健相談:249件 栄養相談:43件 歯科相談:48件	保健相談:284件(うち生活習慣病1件) 栄養相談:16件 歯科相談:30件	保健相談:274件(生活習慣病0件) 栄養相談:25件 歯科相談:38件	保健相談:254件(生活習慣病0件) 栄養相談:29件 歯科相談:45件			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	相談から実際に改善につなげていくまでのプロセスが課題である。健康に関する情報を引き続き発信していく。	相談から実際に改善につなげていくまでのプロセスが課題である。健康に関する情報を引き続き発信していく。	相談から実際に改善につなげていくまでのプロセスが課題である。健康に関する情報を引き続き発信していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
施策の目標	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	67.4%	80%	健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	54.3%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	62.9%	67%	現状値よりも10%増やす

今後の方向性・取組
市民が健康寿命の意味について知り、健康づくりの行動を起こすようにするため、まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう、具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を行っていきます。

通番	★2(再)	所管課	健康推進課			
事業名	健康講座					
事業概要	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート	参加者へアンケート	参加者へアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
健康講座 年10回 食育講座 年3回	健康講座 年7回 食育講座 年1回 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4回中止。緊急事態宣言中の1回は個別対応で実施。)	健康講座 年11回 食育講座 年3回 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止。)	健康講座 年12回 食育講座 年3回			健康講座 年10回以上 食育講座 年3回以上
「働き盛り」世代等への取組	参加しやすい土日に開催	参加しやすい土日に開催	参加しやすい土日に開催			
各年度末までの進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	国・市の方針に従い実施可否を考え、状況に応じ講座形式ではない健康教育も検討していく。	感染症対策を行いながらできる限り実施した。参加困難な方向けに、オンラインや動画配信等の実施方法を検討。	感染症対策を行いながらできる限り実施した。参加困難な方向けに、オンラインや動画配信等も実施。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)
施策の目標	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	67.4%	80%	健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	54.3%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	62.9%	67%	現状値よりも10%増やす

今後の方向性・取組
市民が健康寿命の意味について知り、健康づくりの行動を起こすようにするため、まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう、具合が悪い時だけではなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を行っていきます。

通番	3(再)	所管課	健康推進課			
事業名	個別相談					
事業概要	電話・面接・訪問等による個別相談(保健・栄養・歯科)を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	相談後の反応	相談後の反応	相談後の反応			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
保健相談:249件 栄養相談:43件 歯科相談:48件	保健相談:284件(うち生活習慣病1件) 栄養相談:16件 歯科相談:30件	保健相談:274件(生活習慣病0件) 栄養相談:25件 歯科相談:38件	保健相談:254件(生活習慣病0件) 栄養相談:29件 歯科相談:45件			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	相談から実際に改善につなげていくまでのプロセスが課題である。健康に関する情報を引き続き発信していく。	相談から実際に改善につなげていくまでのプロセスが課題である。健康に関する情報を引き続き発信していく。	相談から実際に改善につなげていくまでのプロセスが課題である。健康に関する情報を引き続き発信していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する		
施策の方向性	1-2自らの健康に関心を持つ(自らの健康状態を把握する)		
施策の目標	健康寿命を延ばす 定期的に健康をチェックするためにかかりつけ医療機関を持つ		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康寿命という言葉を知っている人の割合 『言葉も意味も知っていた』	67.4%	80%	健康寿命という言葉・意味を知っていて初めて健康寿命を延ばす行動がとれるため、ほとんどの人が知っている数値を目標とする
「かかりつけ」歯科医を持っている人の割合	54.3%	80%	ほとんどの人が定期的に歯と口の健康をチェックしている数値
「かかりつけ」医師を持っている人の割合	62.9%	67%	現状値よりも10%増やす

今後の方向性・取組
市民が健康寿命の意味について知り、健康づくりの行動を起こすようにするため、まず言葉の周知を行っていきます。 自らの健康に関心を持つことができるよう、具合が悪い時だけでなく日常的なヘルスチェックを行う習慣を小さい頃から身につけるための啓発を行っていきます。

通番	4	所管課	健康推進課			
事業名	子どもの歯を守る連絡会					
事業概要	市、関係機関等が連携し「子どもの歯と口の健康づくり」に関する効果的な事業の推進を図るための検討や協議を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診、小中学校等で実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診、小中学校等で実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診、小中学校等で実施			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年2回開催	年2回開催(うち1回 書面開催)	年2回開催(うち1回 書面開催)	年2回開催			年2回開催
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	活発な情報提供及び 情報共有、意見交換 の場となるような会 の進め方を検討	各関係機関の持続的 な情報提供及び情報 共有 将来的な市長期総合 ビジョンと、本会計画 の整理の検討	現計画指標達成維持 の為の効果的方法の 検討 令和6年度に「健康増 進計画」と本会計画を 統合予定の為、目標 設定等整理の検討の 継続			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	5	所管課	健康推進課			
事業名	健康診査(若年層, 30歳代, 生保等)					
事業概要	疾病の早期発見を目的とし, 若年層(25歳から29歳)及び30歳代(30歳から39歳)の市民を対象に健康診査を実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	国保加入者の受診率把握	国保加入者の受診率把握	国保加入者の受診率把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
【若年層】 受診率1.62% 対象者数7,978人 受診者数129人 【30歳代】 受診率2.46% 対象者数16,334人 受診者数401人	【若年層】 受診率0.9% 対象者数8,291人 受診者数72人 【30歳代】 受診率2.7% 対象者数16,673人 受診者数448人 新型コロナウイルス感染症対策のため4～5月中止	【若年層】 受診率1.3% 対象者数8,433人 受診者数113人 【30歳代】 受診率3.1% 対象者数16,933人 受診者数527人	【若年層】 受診率1.1% 対象者数8,371人 受診者数95人 【30歳代】 受診率2.8% 対象者数17,088人 受診者数484人			【若年層】 受診率1.62%以上 (平成30年度受診率以上) 【30歳代】 受診率2.46%以上(平成30年度受診率以上)
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	子育て世代を含む若年層も受診しやすい環境の整備。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	子育て世代を含む若年層も受診しやすい環境の整備。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	子育て世代を含む若年層も受診しやすい環境の整備。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	6	所管課	健康推進課			
事業名	特定健康診査(国民健康保険、40歳以上)					
事業概要	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象として、医療保険者が毎年度特定健康診査等実施計画に定めた内容の健診を実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	受診率の把握	受診率の把握	受診率の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
受診率41.59% 対象者数17,891人 受診数7,441人	受診率36.03% 対象者数17,228人 受診数6,207人 新型コロナウイルス感染症対策のため5月中止。 受診期間(医療機関)を一律2月末まで延長	受診率38.58% 対象者数17,353人 受診数6,694人 新型コロナウイルス感染症の受診控えを考慮し 受診期間(医療機関)を一律2月末まで延長	受診率37.81% 対象者数17,172人 受診数6,494人 新型コロナウイルス感染症の受診控えを考慮し 受診期間(医療機関)を一律2月末まで延長			受診率49.3%以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れている。	やや取組が遅れている。	やや取組が遅れている。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	受診環境・周知方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	受診環境・周知方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	周知方法の見直し。受診環境を拡大したこと の周知			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	7	所管課	健康推進課			
事業名	後期高齢者医療健康診査					
事業概要	後期高齢者医療制度加入者(主に75歳以上)を対象として、病気の早期発見・早期治療を目的として、特定健康診査と同等内容の健診を実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	受診率の把握	受診率の把握	受診率の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
受診率54.63% 対象者数13,496人 受診数7,373人	受診率51.6% 対象者数14,176人 受診見込数7,320人 新型コロナウイルス感染症対策のため5月中止。 受診期間を一律2月末まで延長	受診率52.14% 対象者数14,271人 受診数7,441人 新型コロナウイルス感染症の受診控えを考慮し 受診期間(医療機関)を一律2月末まで延長	受診率53.6% 対象者数14,745人 受診数7,903人 新型コロナウイルス感染症の受診控えを考慮し 受診期間(医療機関)を一律2月末まで延長			受診率54.9%以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	周知方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	周知方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	周知方法の見直し。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	8	所管課	健康推進課			
事業名	人間ドック・脳ドック(30歳以上)					
事業概要	生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療を目的とし、30歳以上の市民を対象として人間ドック・脳ドックを実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	受診者数の把握	受診者数の把握	受診者数の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
人間ドック 受診者数793人 脳ドック(6月導入) 受診者数273人	人間ドック 受診者数608人 脳ドック 受診者数130人 新型コロナウイルス感染症対策のため4～5月中止	人間ドック 受診者数745人 脳ドック 受診者数238人	人間ドック 受診者数837人 脳ドック 受診者数256人			受診者数 ・人間ドック793人以上(平成30年度受診者数以上) ・脳ドック250人以上
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	利用申請、受診料受領方法の見直し。 受診医療機関の拡充。 コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	利用申請、受診料受領方法の見直し。 受診医療機関の拡充。 コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	利用申請、受診料受領方法の見直し。 受診医療機関の拡充。 コロナ禍においても必要な受診ができるように周知			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	9	所管課	健康推進課			
事業名	特定保健指導					
事業概要	特定健康診査の結果、内臓脂肪症候群の予防改善に努める必要のある者を対象として、生活習慣改善の保健指導を行う。健診結果により動機づけ支援と積極的支援に分かれる。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケートの実施	アンケートの実施	アンケートの実施			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
特定保健指導実施 率15.8%	特定保健指導実施 率16.0% うち、ICT面談率8.9% (10件)	特定保健指導実施 率15.6% 面談実施者のうち ICT面談15.4%(18 件) 訪問面談1.7%(2件)	特定保健指導実施 率16.6% 面談実施者のうち ICT面談15.4%(18 件) 訪問面談1.7%(2件)			特定保健指導実施 率16.7%以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	面談方法、周知・勧奨 方法等、工夫を行い受 診率を高めていく必要 がある	面談方法、周知・勧奨 方法等、工夫を行い受 診率を高めていく必要 がある	面談方法、周知・勧奨 方法等、工夫を行い受 診率を高めていく必要 がある			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	10	所管課	保険年金課			
事業名	糖尿病性腎症重症化予防					
事業概要	特定健康診査の結果、糖尿病性腎症重症化のハイリスク者を対象として、かかりつけ医と連携の上、保健指導を実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	保健指導対象者の 検査結果の推移	保健指導対象者の 検査結果の推移	保健指導対象者の 検査結果の推移			
	未実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
未実施	本事業は平成31年度 開始。そのときの対象 者は令和2年度後期以 降のためモニタリング 未実施。令和2年度の 対象者については、令 和3年度以降にモニタ リングを行う。	事業対象者47人に 勧奨し、6人の参加 があった。	事業対象者21人に 勧奨し、4人の参加 があった。			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	通知のあり方やかかり つけ医師の協力を得る ための通知発送のタイ ミング	事業参加率が12.7%と 低く、事業への参加意 欲を高める周知方法を 検討していく必要があ る。	事業参加者数を増や すためにも、特定健診 の受診者数を増やす 方法を検討していく必 要がある。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	★11	所管課	健康推進課			
事業名	がん検診					
事業概要	各種がんの早期発見・早期治療を目的とした検診。 胃・肺・大腸がんは40歳以上対象。 乳がんは40歳以上(2年に1回)対象。子宮がんは20歳以上(2年に1回)対象。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	受診率の把握	受診率の把握	受診率の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
受診者数 胃がん1,483人 肺がん2,713人 大腸がん14,254人 乳がん2,223人 子宮がん2,520人	受診者数 胃がん1,172人 肺がん2,076人 大腸がん12,514人 乳がん2,144人 子宮がん1,919人 新型コロナウイルス感染症対策のため4～5月中止	受診者数 胃がん1,648人 肺がん2,760人 大腸がん13,235人 乳がん1,938人 子宮がん4,014人	受診者数 胃がん1,676人 肺がん2,817人 大腸がん13,254人 乳がん2,167人 子宮がん3,132人			平成30年度受診者数以上
「働き盛り」世代等への取組	土日実施(胃がん検診、乳がん検診)、医療機関により土曜実施(子宮がん検診)	左記内容の継続 無料クーポン発行年齢の拡大(子宮がん検診、20～40歳)	左記内容の継続			
各年度末までの進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	周知・募集時期の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	周知・募集時期の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	周知・募集時期の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こして、生活習慣病や健康に関する正しい知識を身につける
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	12	所管課	健康推進課			
事業名	結核検診					
事業概要	結核の早期発見を目的とした検診。18歳以上を対象。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	受診者数の把握	受診者数の把握	受診者数の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
受診者数77人	受診者数33人 新型コロナウイルス感染症対策のため4～5月中 止 (健診同時実施12,203人)	受診者数27人 (健診同時実施 12,513人)	受診者数48人 (健診同時実施 12,592人)			受診者数60人以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れている。	やや取組が遅れている。	やや取組が遅れている。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	若い世代への周知。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	若い世代への周知。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	若い世代への周知。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	13	所管課	健康推進課			
事業名	肝炎ウイルス検診					
事業概要	40歳以上で、過去に一度も肝炎ウイルス検診を受診したことのない市民を対象に実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	40歳以上市民の 受検率	40歳以上市民の 受検率	40歳以上市民の 受検率			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
受診者数855人	受診者数387人 新型コロナウイルス感染症対策のため4～5月中止	受診者数740人	受診者数 732人			受診者数855人以上(平成30年度受診者数以上)
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行している。	やや取組が遅れている。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	周知・募集方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	周知・募集方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知	周知・募集方法の見直し。コロナ禍においても必要な受診ができるように周知			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組

自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	★14	所管課	健康推進課			
事業名	歯科健診					
事業概要	・妊婦歯科健診:妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診:2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査、仕上げみがきや幼児自身の歯みがき、フッ化物塗布(希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科医師会医療機関にて、20歳以上の市民対象に口腔内診査、相談を実施。 ・高齢者歯科健診:歯科医師会医療機関にて、75歳以上の市民対象に、口腔機能に関する項目を含む口腔内診査、相談を実施。 ・口腔がん検診:視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	成人歯科健診のアンケートでは歯科保健行動につながる項目をいれている。 妊婦歯科健診は今年度中止	成人歯科健診のアンケートでは歯科保健行動につながる項目をいれている。	成人歯科健診のアンケートでは歯科保健行動につながる項目をいれている。			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
受診者 ・妊婦167人 ・乳幼児(2歳半3歳半)270人、予防処置(フッ化物塗布)252人 ・成人900人 ・口腔がん59人	・妊婦0人 ・乳幼児(2歳半3歳半)182人、予防処置(フッ化物塗布)175人 ・成人1,070人 ・高齢者568人 ・口腔がん0人 妊婦歯科健診・口腔がん検診は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	・妊婦116人 ・乳幼児(2歳半3歳半)145人、予防処置(フッ化物塗布)136人 ・成人1,134人 ・高齢者583人 ・口腔がん0人 口腔がん検診は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	・妊婦114人 ・乳幼児(2歳半3歳半)132人、予防処置(フッ化物塗布)122人 ・成人1,273人 ・高齢者844人 ・口腔がん30人			受診者数 ・妊婦170人 ・乳幼児(2歳半3歳半)270人、予防処置(フッ化物塗布)250人 ・成人825人 ・高齢者125人 ・口腔がん65人
「働き盛り」世代等への取組	特定健診対象者への案内継続 30,40,50,60,70歳への個別勧奨継続	特定健診対象者への案内継続 30,40,50,60,70歳への個別勧奨継続	特定健診対象者への案内継続 30,40,50,60,70歳への個別勧奨継続			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	受診率向上にむけた周知・勧奨の継続及び効果的な方法の検討 定期的健診の継続の重要性の普及・啓発	受診率向上にむけた周知・勧奨の継続及び方法を検討 定期健診継続の重要性についての普及・啓発 歯科医療機関への情報提供方法や連携の検討	受診率向上にむけた周知・勧奨の継続及び効果的な方法の検討 定期健診の必要性等、情報提供の場としての医科医療機関との協力体制の仕組みづくり			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	1 健康意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を予防する
施策の方向性	1-3自らの健康状態を把握するために行動を起こす
施策の目標	定期的に健康診査を受診する

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
最近1年以内に健康診査を受けた人の割合	83.2%	95.0%	全市民が1年に1回健康診査を受けている数値

今後の方向性・取組
自らの健康状態を把握するために行動を起こせるよう、健(検)診の受診勧奨をより一層進め、早期発見・早期治療に結びつけていきます。

通番	★15	所管課	健康推進課			
事業名	40歳・60歳検診勧奨事業					
事業概要	節目である40歳及び60歳になる方を対象に、がん検診、歯科健康診査に関する個別通知により受診勧奨を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	40歳・60歳受診率の 把握	40歳・60歳受診率の 把握	40歳・60歳受診率の 把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
40歳勧奨: 発送数 1,731件 60歳勧奨: 発送数 1,449件	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため、 勧奨中止 (4～5月検診中止)	40歳勧奨: 発送数 1,625件 60歳勧奨: 発送数 1,644件	40歳勧奨: 発送数 1,738件 60歳勧奨: 発送数 1,648件			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	定員縮小のため、勧 奨を中止した。	40歳の市民へ個別 勧奨通知を発送。 必要時パノラマレント ゲン実施(歯科)	40歳の市民へ個別 勧奨通知を発送。 必要時パノラマレント ゲン実施(歯科)			
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	申込方法の見直し	申込方法の見直し(が ん検診)	申込方法の見直し(が ん検診)。 勧奨パンフレットの見 直し。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		
指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す
今後の方向性・取組			
朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。 市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。			

通番	★1(再)	所管課	健康推進課			
事業名	健康情報のポスター作成					
事業概要	市内薬局等に健康講座や、食育などの情報をポスターにて掲示し、市民に広く周知する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	市内薬局への聞き取り	市内薬局への聞き取り	市内薬局への聞き取り			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市内薬局42か所・市施設7か所(公民館等)に前期、後期1種類ずつ掲示。	市内薬局24か所(薬剤師会会員)・市施設7か所(公民館等)に前期、後期に1種類ずつ掲示。	市内薬局 前期24か所後期26か所(薬剤師会会員)・市施設7か所(公民館等)・市HPに前期、後期に1種類ずつ掲示。閲覧用二次元バーコードを食育リーフレットに掲載。	市内薬局前期25か所、後期26か所(薬剤師会会員)・市施設7か所(公民館等)・市HPに前期、後期に1種類ずつ掲示。閲覧用二次元バーコードを食育リーフレットに掲載。			市内全薬局及び市施設に、前期、後期1種類ずつ年間を通してポスターを掲示。
「働き盛り」世代等への取組	未実施	未実施	未実施			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	連絡会等がなくなり市薬剤師会登録薬局のみでの掲示だった。薬剤師会等と相談し、掲示箇所を増やしていく。	薬剤師会登録薬局2か所増、市HP掲載により、掲載箇所を増やした。今後、リーフレット等への閲覧用二次元バーコード掲載を増やしていく。	薬剤師会登録薬局1か所増。今後も、リーフレット等への閲覧用二次元バーコード掲載を増やしていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	★2(再)	所管課	健康推進課			
事業名	健康講座					
事業概要	生活習慣病予防や生活習慣改善に関する講座を実施する。 託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へアンケート	参加者へアンケート	参加者へアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
健康講座 年10回 食育講座 年3回	健康講座 年7回 食育講座 年1回 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4回中止。緊急事態宣言中の1回は個別対応で実施。)	健康講座 年11回 食育講座 年3回 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止。)	健康講座 年12回 食育講座 年3回			健康講座 年10回以上 食育講座 年3回以上
「働き盛り」世代等への取組	参加しやすい土日に開催	参加しやすい土日に開催	参加しやすい土日に開催			
各年度末までの進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	国・市の方針に従い実施可否を考え、状況に応じ講座形式ではない健康教育も検討していく。	感染症対策を行いながらできる限り実施した。参加困難な方向けに、オンラインや動画配信等の実施方法を検討。	感染症対策を行いながらできる限り実施した。参加困難な方向けに、オンラインや動画配信等も実施。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組
朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。 市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	16	所管課	健康推進課			
事業名	「天平メニュー・国分寺ごはん」の活用					
事業概要	H26に市制50周年記念事業として、市栄養士がメニューを開発した。引き続きメニューを周知し、講座等に活用する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	講座でのアンケート	講座でのアンケート	講座でのアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・食育講座 年3回 ・保育園 小学校 中学校で給食の提供 ・市報 HPIに掲載 ・レシピ チラシの配架 ・店舗3か所でメニュー提供	・食育講座 年1回(新型コロナウイルス感染症対策のため2回中止。) ・保育園 小学校 中学校で給食の提供 ・市報 HPIに掲載 ・レシピ チラシの配架 ・店舗3か所でメニュー提供	・食育講座 年3回(新型コロナウイルス感染症対策のため2回中止。) ・保育園 小学校 中学校で給食の提供 ・市報 HPIに掲載 ・レシピ チラシの配架 ・店舗1か所でメニュー提供	・食育講座 年3回 ・保育園、小学校、中学校での給食の提供 ・市報、HPIに掲載 ・レシピ、チラシの配架			食育講座年3回以上
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	まつり等のイベントが減ったため直売所でチラシを配架した。今後も、工夫しながら周知していく。	まつり等のイベントが減ったため直売所でチラシを配架した。今後も、講座等で周知していく。	まつり等のイベントが減ったため直売所でチラシを配架した。今後も、講座等で周知していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	17	所管課	健康推進課			
事業名	栄養講座・食育講座					
事業概要	17-a 食事を楽しみながら生活習慣病予防や生活習慣改善を目的に、各種教室を開催し市民の健康の保持・増進を図る。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・栄養講座年5回実施 ・食育講座年3回実施	栄養講座 年4回 食育講座 年1回 (新型コロナウイルス感染症対策のため3回中止。緊急事態宣言中の1回は個別対応で実施。)	栄養講座 年5回 食育講座 年3回	栄養講座 年5回 食育講座 年3回			・栄養講座年3回以上 ・食育講座年3回以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	国・市の方針に従い実施可否を考え、状況に応じた実習内容の工夫や講座形式ではない健康教育も検討していく。	感染症対策を行いながら工夫して実施した。参加困難な方向けに、オンラインや動画配信等の実施方法を検討。	感染症対策を行いながら工夫して実施した。参加困難な方向けに、動画配信を行った。今後も動画配信を行っていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	17	所管課	公民館課			
事業名	栄養講座・食育講座					
事業概要	17-b 栄養や食事、食育に関する講座の実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート	参加者アンケート	参加者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
9事業	2事業 本多公民館:「子育て 関連講座(みんなで 話そう 時短レシピと 子育て)」 光公民館:「健康講座 (薬膳と経絡スト レッチ)」	2事業 本多公民館:「子育て 関連講座(みんなで話 そう 時短レシピと育 て)」 光公民館:「健康講座 (薬膳と経絡ストレッ チ)」	6事業 本多公民館:「子育て 関連講座(時短料理 (レシピ)と子育て)」 「グループ企画事業 (農と食育のいい関係 ～これからの食育の カタチを考える～)」 「異世代交流事業 (子どもと大人の交流・ 体験広場)」(親子で クッキング)」 光公民館:「健康講座 (薬膳と経絡ストレッ チ)」 もたち公民館:「多文化 共生講座(食から学 ぶ中国文化～香港編～)」 並木公民館:「野菜の 力がいっぱい～ごろ ろスープ～」			10事業継続して実 施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れて いる。	大幅に取組が遅れて いる。	やや取組が遅れて いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	・新型コロナウイルス感 染症対策のため、飲食 を伴う事業を行うこと ができなかった。 飲食を伴わない「食育」 講座の在り方について 検討が必要と考える。	・昨年度に引き続き飲食 を伴う事業ができなかつ た。3月に施設内の調理 及び飲食が可能となつた ため新型コロナウイルス 感染症の拡大染状を見 極め、工夫して事業を 実施していくことが重要	・新型コロナウイルスの感染防 止対策を講じつつ、事業を 実施していくことが重要である。 ・新型コロナウイルス感染拡大 防止の観点から、食に関する 講座を見送りその他の健康増 進などに重点を置き事業を 実施した公民館もある。今後は 実施を検討していく。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組
朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。 市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	17	所管課	子育て相談室(子ども家庭支援センター)			
事業名	栄養講座・食育講座					
事業概要	17-c ①1～2歳児の栄養・食生活講習会 ②親子食事作り講習会 ③妊娠期からの食生活講習会					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート	利用者アンケート	利用者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
各年1回実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、調理、飲食などを伴う講座等の開催を見合わせたため、未実施。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、調理、飲食などを伴う講座等の施設内での実施が難しかったため、YouTubeにて動画を配信を行った。(視聴回数263回)	①実施(調理は動画を活用) 講座内に参加者同士が交流できる時間を設け、仲間づくりにつなげた。 ②③未実施			各年1回継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により内容変更。	コロナ禍により内容変更。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	オンラインを活用し、情報発信していくなど、講座の実施方法を見直ししていく必要がある。	動画配信では、仲間づくりにつなげることができないため、仲間づくりへも繋げられるよう講座の実施方法を検討していく必要がある。	調理方法は動画でわかりやすく学ぶことが出来たが、今後より良い講座の実施方法を検討する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	18	所管課	健康推進課			
事業名	個別栄養相談					
事業概要	健康の保持増進を図るため、個別栄養相談を実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケートを検討	参加者アンケート	参加者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年12回実施	年11回実施 (緊急事態宣言のため1回中止)	年12回実施	年12回実施			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	国・市の新型コロナウイルス感染症対策方針に従い、毎月実施の継続。アンケート作成。	国・市の新型コロナウイルス感染症対策方針に従い、毎月実施の継続。	毎月実施の継続。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	19	所管課	健康推進課			
事業名	離乳食講習会					
事業概要	離乳食に対する知識の普及を図り、母子の健康保持・増進に努める。離乳食の作り方だけでなく、仲間づくりの場とする。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年12回実施	年10回実施 (新型コロナウイルス感染症対策のため各2回中止。緊急事態宣言中は個別対応で実施。)	年12回実施 (新型コロナウイルス感染症対策のため緊急事態宣言中は個別相談を実施。)	年12回実施			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	配布テキストを充実させ、来所できない方向けに市HPに掲載した。今後もコロナ禍における実施方法を工夫していく。	グループワークを再開し、参加者アンケートで好評だった。今年度も感染症対策を行いながら工夫して実施していく。	新型コロナウイルス感染症の動向を見つつ、参加人数を検討していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	★20	所管課	健康推進課			
事業名	両親学級・乳幼児健診など母子保健事業での情報提供					
事業概要	母子保健事業を活用し、子どもだけではなく保護者の健康づくりの必要性やの生活習慣病等について情報提供を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・両親学級(栄養講話)年4回実施 ・乳幼児健診(集団)年72回実施 ・乳幼児健診(集団)年72回実施	・両親学級(栄養講話)年4回実施 ・乳幼児健診(集団)年72回実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為4～5月は中止。	・両親学級(栄養講話)年4回実施 ・乳幼児健診(集団)年72回実施	・両親学級(栄養講話)年4回実施 ・乳幼児健診(集団)年72回実施			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組	母子事業を活用し、情報提供していく。	母子事業を活用し、情報提供していく。	母子事業を活用し、情報提供していく。			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	引き続き、子どもだけでなく、保護者の健康づくりの情報も提供していく。	引き続き、子どもだけでなく、保護者の健康づくりの情報も提供していく。	引き続き、子どもだけでなく、保護者の健康づくりの情報も提供していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	21	所管課	健康推進課			
事業名	若い世代への食の情報提供チラシ配布					
事業概要	市内大学・高校等と連携し、大学生に生活習慣病予防や食の情報提供チラシ配布。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	配布先の聞取り	配布先の聞取り	配布先の聞取り			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市内大学1校・高校3校・私立中学校1校・専門学校1校(1年生に配布)	・市内大学1校、高校3校の1年生、専門学校1校の1・2学年、市立中学校1校の1年生に、配布。市HP掲載	・市内大学1校、高校3校の1年生、専門学校1校の1・2学年、私立中学校1校の1年生に、配布。市HP掲載	・市内大学1校の1年生、高校3校の1年生、専門学校1校の1・2年生、私立中学校1校の1年生に配布。構内掲示と校内HPへの掲載を行った。市HPへの掲載を行った。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	実施の継続	実施の継続	実施の継続			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-1食育・栄養・食生活 「国分寺市食育推進計画」		
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』 <19歳以上市民>	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』 <30歳代以下男性>	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組	
朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。	
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。	

通番	22	所管課	高齢福祉課			
事業名	一般介護予防事業					
事業概要	「介護予防把握事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」「一般介護予防事業評価事業」「地域リハビリテーション活動支援事業」から構成される。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	開催状況把握	開催状況把握	開催状況把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
地域包括支援センターと健康推進課との共催実施 「介護予防教室」 「家族介護者交流会」において年4回実施	委託地域包括支援センターにて開催 ・転倒予防教室 年3回 ・介護予防教室 年5回 ・家族介護者交流会 年15回 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため介護予防講演会は中止	委託地域包括支援センターにて開催 ・転倒予防教室 年7回 ・介護予防教室 年6回 ・家族介護者交流会 年16回 介護予防講演会実施	委託地域包括支援センターにて開催 ・転倒予防教室 年6回 ・介護予防教室 年6回 ・家族介護者交流会 年18回 介護予防講演会実施			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	多職種連携の介護予防ケアマネジメントを実施すべく、歯科医師や歯科衛生士、リハビリ専門職と連携深めていく必要がある。	介護予防に栄養や口腔関係が重要であることを、市民に幅広く、多職種と連携して伝えていく必要がある。	介護予防に栄養や口腔関係が重要であることを、市民に幅広く、多職種と連携して市民が市民に伝えていく仕組みを進展させる必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	23	所管課	子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)			
事業名	摂食指導					
事業概要	専門指導として摂食指導を取り入れ、摂食指導の知識・大切さを保護者へアプローチすると共に、指導員等の研修も兼ねて行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	摂食相談実施回数	摂食相談実施回数	摂食相談実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
摂食指導は年4回 (4月・7月・10月・1月)実施。 食事の形態や介助方法等の指導を受け、療育の中に取り入れた。	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等により、10月と1月に実施	摂食指導は年4回 (4月・7月・10月・1月)実施。 食事の形態や介助方法等の指導を受け、療育の中に取り入れた。	摂食相談は年4回 (4月・7月・10月・1月)実施。 食事の形態や児の口の機能、介助方法、等々の指導を受けた。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	感染症対策を講じた上での実施回数を確保していく必要がある。	摂食相談に対する市民ニーズはあることから、引き続き感染症対策を講じた上での事業実施を目指す必要がある。	摂食相談に対する市民ニーズはあることから、引き続き実施回数を確保する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食することなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	24	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	給食を通じた乳幼児期の食育指導					
事業概要	日々の給食提供から季節の食材や料理を伝える。 伝統的な行事にまつわる食事の提供により伝統食を伝える。 園内行事に合わせた食の提供等により、楽しい食体験を伝える。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数	実施回数	実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
毎月1回実施	毎月実施 年間44回実施	毎月実施 年間66回	毎月実施 年間57回			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナ感染拡大防 止対策があり、園児が 直接食材に触れるなど の機会が限られている。	新型コロナ感染拡大防 止対策があり、園児 が直接食材に触れる などの機会が限られて いる。	新型コロナ感染拡大防 止対策があり、園児が 直接食材に触れるなど の機会が限られてい る。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食することなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	25	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	保育園内における野菜等の栽培					
事業概要	さまざまな野菜(食材)を栽培し、食べることで野菜(食材)に興味を持たせる。 野菜(食べ物)の育ちを知らせる。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数	実施回数	実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年数回収穫実施	春季作・秋季作の年 2期作とその収穫	春季作・秋季作の年 2期作とその収穫	春季作・秋季作の年 2期作とその収穫			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	天候不順等によって収 穫が左右されてしまう。	天候不順等によって収 穫が左右されてしま う。	天候不順等によって収 穫が左右されてしま う。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	26	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	芋ほり等の農業体験					
事業概要	地域での農業体験を通して、食材を作っている人について伝える。 また自分の関わる地域の食材を伝える。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数	実施回数	実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年2回実施	年1回実施	年2回実施	年2回実施			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	野外での園外保育時 における園児の安全 管理の徹底	野外での園外保育時 における園児の安全 管理の徹底	野外での園外保育時 における園児の安全 管理の徹底			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	27	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	給食地域交流会					
事業概要	地域の子育て世代に対して実際に給食を食べることを含めた情報提供を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート	アンケート	アンケート			
	未実施	実施				
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
月1～2回実施	新型コロナウイルス感染症流行のため未実施(全10回中止) 代替措置として、保育園ブログに、給食関連記事を4回掲載。	新型コロナウイルス感染症流行のため未実施(全10回中止)代替措置として、配布予定の地域ビラにメニューや簡単な調理保育の様子を掲載。	新型コロナウイルス感染症流行のため未実施(全10回中止)			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により未実施・中止。	コロナ禍により未実施・中止。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナ感染拡大防止対策があり、地域住民との交流方法が限られる。	新型コロナ感染拡大防止対策があり、地域住民との交流方法が限られる。	新型コロナ感染拡大防止対策があり、地域住民との交流方法が限られる。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	28	所管課	経済課			
事業名	①市民農園 ②市民農業大学					
事業概要	①市民が野菜栽培を通じて土に親しむと共に生産の喜びを味わい、市民相互の交流を深めてより豊かな余暇生活を実現する。 ②市民に「農業・農業者・農場への関心と理解を深めてもらう」ことを理念として、地元農業者の協力と指導により、受講生の手で農作物の播種・定植から除草などの農場管理、収穫に至る一連の作業に取り組む体験学習を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケートの実施	利用者アンケートの実施	利用者アンケートの実施			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
①市内5か所で実施。今年度は、内1園126区画(西国分寺駅前)の使用人入れ替えを行った。 ②受講生22名中21名が修了	①市内5か所で実施。1園126区画(西国分寺駅前)の使用人入れ替えを行った ②受講生16名中16名全員が修了	①市内5か所で実施(西恋ヶ窪については12月末で閉園)。4園319区画(西恋ヶ窪・戸倉・東元町・光町)の使用人入れ替えを行った ②受講生17名中16名が修了	①市内4か所で実施。うち1園126区画(西国分寺駅前)の使用人入れ替えを行った ②受講生29名中25名が修了			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	①あり方を含め農業振興に資する取組であるか多角的に検討する必要がある。 ②借地運営のため圃場の安定的・恒常的確保が課題。近年受講生が減ってきているため、情報発信の強化が必要である。	①「都市農地貸借円滑化法(平成30年9月施行)」による農業者の農地利用の選択肢が広がったことを受け、農業者自らが開設する市民農園を推進していく。 ②借地運営のため圃場の安定的・恒常的確保が課題。	①「都市農地貸借円滑化法(平成30年9月施行)」による農業者の農地利用の選択肢が広がったことを受け、農業者自らが開設する市民農園を推進していく。 ②借地運営のため圃場の安定的・恒常的確保が課題。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	29	所管課	経済課			
事業名	援農ボランティア募集					
事業概要	農業者の高齢化や後継者不在など、担い手不足の問題を抱えた農家が増加していることを受け、援農ボランティアの「養成」と「紹介」を「国分寺市民農業大学」の受講生を対象として実施。援農活動を希望する認定者を、受入農家に紹介する制度。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	活動希望者の意向 把握	活動希望者の意向 把握	活動希望者の意向 把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市民農業大学受講生 22名中、21名が援農 ボランティア養成講座 を受講し、21名全員 が援農ボランティア認 定	新型コロナウイルス感染症対策のため、援農ボランティア養成講座を中止。そのため、令和2年度には援農ボランティアを養成できなかったが、令和元年度以前の認定者の中で活動を希望する者を受入農家へ紹介	市民農業大学受講生17名中16名が援農ボランティア養成講座を受講し、この内15名が援農ボランティア認定	市民農業大学受講生29名が援農ボランティア養成講座を受講し、この内25名が援農ボランティア認定			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	活動希望者と受入れ農家とのマッチング。ボランティアを養成している市民農業大学の受講生が近年減ってきているため、情報発信の強化が必要である。	農家の後継者不足等により増加する受入れ農家の需要に応えられるよう、市民農業大学の受講生の定員確保のための情報発信の強化が必要である。	受入れ農家の需要に応えられるよう、より多くの人材を養成し派遣する。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	30	所管課	経済課			
事業名	直売所マップの配布					
事業概要	農業振興補助金を活用し、JA東京むさし国分寺支店が制作した直売所マップを市役所の窓口等で配布する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	配布部数の把握	配布部数の把握	配布部数の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
窓口以外にも様々な農業イベントで配布	直売所情報を精査し、最新情報を掲載した直売所マップを作成・配布	直売所情報を精査し、最新情報を掲載した直売所マップを配布	直売所情報を精査し、最新情報を掲載した直売所マップを配布			直売所情報を精査し、最新情報を掲載した直売所マップを配布
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	情報発信ツールとして有効であるため引き続き配布を行う。	情報発信ツールとして有効であるため引き続き配布を行う。	情報発信ツールとして有効であるため引き続き配布を行う。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	31	所管課	経済課			
事業名	地場産農畜産物の周知					
事業概要	市民農業大学、農業体験農園、ぶんじふれあい市、農業祭、農ウオーク等の農業関連事業を通じて参加者に対し、市内産の野菜をPRする。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	認知率調査	認知率調査	認知率調査			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市民農業大学、農業 体験農園(全7か 所)、ぶんじふれあい 市(年2回)、農業祭、 農ウオーク、ふれあい 視察会(うど見学会) 等を実施し、参加者に 市内産の野菜をPR	市民農業大学、農業体験 農園(全7か所)等を通じ て市内産の野菜をPR 新型コロナウイルス感染 症対策のため、上記の事 業以外は中止	市民農業大学、農業体験 農園(全7か所)等を通じ て市内産の野菜をPR 新型コロナウイルス感染 症対策のため、上記の 事業以外は中止	市民農業大学、農業体験 農園(全7か所)、農 ウオーク等を通じて市内 産の野菜をPR 新型コロナウイルス感染 症対策のため、ぶんじふ れあい市は中止とし、農 業祭は一般観覧を実施 せず規模を縮小して開催			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	多様な情報発信ツールの 活用	多様な情報発信ツールの 活用	多様な情報発信ツールの 活用			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	32	所管課	経済課			
事業名	農業体験					
事業概要	市民農業大学, 市民農園, 国分寺いきいき農園, 農業体験農園等の事業実施による市民の農業体験の場の提供。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加人数の把握	参加人数の把握	参加人数の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市民の農業体験の場として, 市民農業大学, 市民農園, 国分寺いきいき農園(親子農業体験教室・野菜作りの半日体験講習会含む), 農業体験農園等の事業を実施	市民の農業体験の場として, 市民農業大学, 市民農園, 国分寺いきいき農園(親子農業体験教室・野菜作り体験講習会含む), 農業体験農園等の事業を実施	市民の農業体験の場として, 市民農業大学, 市民農園, 国分寺いきいき農園(親子農業体験教室・野菜作り体験講習会含む), 農業体験農園等の事業を実施	市民の農業体験の場として, 市民農業大学, 市民農園, 国分寺いきいき農園(親子農業体験教室・野菜作り体験講習会含む), 農業体験農園等の事業を実施			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	農業体験メニューについての情報発信を強化する	継続して市民に対し農業体験メニュー情報を発信する	継続して市民に対し農業体験メニュー情報を発信する			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	33	所管課	経済課			
事業名	農業体験農園					
事業概要	農業経営の一環として農家自らが開設し、市民に連続した農業体験をしてもらう市民体験型の農園で、種も肥料も野菜づくりに必要なものをすべて農家が用意。年間約20品目程度の多品種栽培を体験しながら、収穫物を受け取る。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケートの実施	利用者アンケートの実施	利用者アンケートの実施			
	未実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市内7園にて開設	市内7園にて開設(新規開設なし) 農業体験農園を開設している農園主同士による情報交換会を開催し、各農園の特徴や運営面の課題等を共有	市内7園にて開設(新規開設なし)	市内7園にて開設(新規開設なし) 農業体験農園を開設している農園主同士による情報交換会を開催し、各農園の特徴や運営面の課題等を共有			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	体験農園の持続的な運営が可能となるよう、引き続き農園主同士の意見交換会を開催し、情報共有や市への支援要望の把握を行う。	体験農園の持続的な運営が可能となるよう、引き続き農園主同士の意見交換会を開催し、情報共有や市への支援要望の把握を行う。	体験農園の持続的な運営が可能となるよう、引き続き農園主同士の意見交換会を開催し、情報共有や市への支援要望の把握を行う。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食することなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	34	所管課	経済課			
事業名	農業祭					
事業概要	農畜産物の品質改善、栽培及び肥育管理の合理化を図り、都市農業の指針を確立し、農業経営の安定と生産意欲の向上に努め農業振興に寄与するとともに、自然環境保護と回復に深い関連のある農業を一般公開し、市民との連携を深める。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	農業祭での売り上げ 実績	農業祭での売り上げ 実績	農業祭での売り上げ 実績			
	実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
11月3日、4日の二 日間農業祭本祭を 実施。本祭に前後 し、農業祭の一環と してハウストマト品 評会、立毛品評会、 うど品評会を実施	新型コロナウイルス感 染症対策のため、農 業祭本祭、ハウスト マト品評会、立毛品 評会、うど品評会 のみ実施	ハウストマト品評 会、立毛品評会、 うど品評会を実施 したもの、新冠 ウイルス感染症対 策のため、農 業祭本祭は中止 となった。	11月4日、5日に農 業祭本祭を実施。 本祭に前後し、 農業祭の一環と してハウストマト 品評会、立毛品 評会、うど品評 会を実施。新冠 ウイルス感染症 対策のため、農 業祭本祭の一般 観覧は中止とな った。			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れて いる。	コロナ禍により規 模縮小。	コロナ禍により規 模縮小。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感 染症対策のため、 同日・同場所で開催 される国分寺まつり が中止となること で農業祭本祭も中 止となった。今後、 感染症の対策を取 った上で実施でき るよう検討する必 要がある。	新型コロナウイルス感 染症対策のため、 同日・同場所で開催 される国分寺まつり が中止となること で農業祭本祭も中 止となった。今後、 感染症の対策を取 った上で実施でき るよう検討する必 要がある。	新型コロナウイルス感 染症対策のため、 同日・同場所で開催 される国分寺まつり が中止となること で農業祭本祭は場 所を変更して一般 観覧を中止し規模 を縮小して実施と なった。今後、感 染症の対策を取っ た上で実施できる よう検討する必要 がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	35	所管課	経済課			
事業名	JA協賛調理教室					
事業概要	JA東京むさし国分寺支店「セミナールーム」にてJAが企画した料理教室を市民向けに実施。食育や地産地消に直結する講座。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者人数	参加者人数	参加者人数			
	未実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
国分寺産うど料理、いちご大福作り、パンキンプリ作り、まんじゅう作りなど市民向け料理教室を年7回実施	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施			JA東京むさし国分寺支店が実施する食育や地産地消に直結する料理教室について、市報で市民に情報提供する。
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により未実施・中止。	コロナ禍により未実施・中止。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	市事業ではないため効果測定がしづらい。調理を伴うため、コロナ禍での実施方法を検討する必要がある。	市事業ではないため効果測定がしづらい。調理を伴うため、コロナ禍での実施方法を検討する必要がある。	市事業ではないため効果測定がしづらい。調理を伴うため、コロナ禍での実施方法を検討する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	36	所管課	子ども子育て支援課(児童館)			
事業名	児童館の料理教室					
事業概要	子どもや乳幼児親子で参加できる料理の企画・実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数	実施回数	実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
料理企画63回 (6児童館合計)	※コロナウイルス感染症対策のため、調理活動は中止した。園庭での野菜の栽培や食育の観点を取り入れた制作等の活動を実施。	※コロナウイルス感染症対策のため、調理活動は中止した。館庭での野菜の栽培や食育の観点を取り入れた制作等の活動を実施。	※コロナウイルス感染症対策のため、調理活動は中止した。館庭での野菜の栽培や食育の観点を取り入れた制作等の活動を実施。			料理企画65回 (6児童館合計)
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により内容変更。	コロナ禍により内容変更。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症対策のため、調理行事の取り組みができなかった。今後、どのような形で「食に興味を持てる」行事を実施することができるか、検討する必要がある。	新型コロナウイルス感染症対策のため、調理行事の取り組みができなかった。レシピの紹介や季節の野菜・果物の手遊びを取り入れ「食に興味を持てる」行事を実施していく。	新型コロナウイルス感染症対策のため、調理行事の取り組みができなかった。令和5年度には調理行事を再開するが、感染症対策を行いながらの実施の仕方を検討する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-1食育・栄養・食生活「国分寺市食育推進計画」
施策の目標	毎日、朝食を食べる 食事を食べるときはよく噛んで食べる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
朝食を食べている人の割合 『毎日食べる』＜19歳以上市民＞	79.9%	90%	週2・3日食べていない人も毎日食べるようになった場合の数値
朝食を食べている人の割合 『ほとんど食べない』＜30歳代以下男性＞	7.5%	10%以下	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値20～30歳代男性15%以下より下げる
『よく噛んで食べるようにしている』人の割合	22.8%	80%	国の「第2次食育推進基本計画」の目標値『80%以上』を目指す

今後の方向性・取組

朝食を毎日食べることなど、望ましい食生活を送るために、各種講座・講演会の開催など普及・情報提供を行うとともに、関係機関と連携していきます。
市の食育事業指針を踏まえた上で、食育を、ライフステージに応じて、暮らしの様々な場面の中で、市民一人ひとりや関係機関と連携しながら、地域を巻き込んだ食育行動を展開していきます。

通番	37	所管課	学務課			
事業名	食育指導					
事業概要	各小学校における栄養職員による食育指導（授業・給食時間での食育指導）。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標（参考）
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	各校への取り組み状況調査	各校への取り組み状況調査	各校への取り組み状況調査			
	実施	実施	実施			
平成30年度 （現状値）	実 績					令和6年度 目標値（参考）
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （実績値）	
各校平均 年27.1回実施	各校平均 年8.5回実施	各校平均 年23.3回実施	各校平均 年23.4回実施			各校 年25回実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れている。	やや取組が遅れている。	やや取組が遅れている。			後期終了時（令和5年度）の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童が密になる食育指導を中止した。今後も栄養職員で情報共有を図り、工夫をして食育指導を行う。	令和3年度は体験を通じた食育について、感染症対策を徹底して実施できたこともあり、コロナ禍においても、様々な工夫をしながら可能な限り食育指導を実施する。	バイキング給食などの感染リスクの高いものを除き食育活動は実施できている。引続き感染症対策を徹底し、様々な工夫をしながら食育指導を実施していく必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	★38	所管課	子育て相談室(子ども家庭支援センター)			
事業名	運動講座					
事業概要	38-a ①ストレッチ＆ダンス ②リトミック ③自分でできるセルフケア ④パパと子どもの遊びの会					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート	利用者アンケート	利用者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
各年1回実施	①3回(親子体操、3B体操) 東京都訪問型スポーツ・レクリエーション促進事業を活用し、年齢別の親子体操や3B体操を実施した。 ②③④未実施	①未実施 ②2回 ③未実施 ④2回 東京都訪問型スポーツ・レクリエーション促進事業を活用し、年齢別(歩く前の子ども、歩ける子ども)パパと子どもの遊びの会を実施した。	①1回(3B体操) ②2回 ③未実施 ④2回 東京都訪問型スポーツ・レクリエーション促進事業を活用し、パパと子どもの遊びの会を実施した。			各年1回継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	やや取組が遅れている。	コロナ禍により規模縮小。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	感染症対策を行った上での講座等の実施方法について、検討していく必要がある。	感染症対策を行った上での講座等の実施方法について、今後も検討していく必要がある。	コロナ禍で中止していた運動講座を再開し、乳幼児を抱える方が身体を動かす機会を増やしていく必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-2身体活動・運動		
施策の目標	1日に歩く時間を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組	
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。	

通番	★38	所管課	健康推進課			
事業名	運動講座					
事業概要	38-b 働き盛り世代でも参加しやすい日程に運動指導員を講師に運動講座を実施して、隙間時間に行える運動を紹介。 託児付講座や土日開催など、対象者の参加しやすい工夫・テーマを取り入れて行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート	参加者アンケート	参加者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年2回実施	年2回ウォーキング講座 の実施 65歳以上 参加者 5人 65歳未満 参加者 6人 (新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため保 育を中止)	ウォーキング講座の実 施(年4回) 65歳以上(2回) 参加者計 14人 65歳未満(2回) 参加者計 6人 (保育利用1人)	ウォーキング講座の実 施(年4回) 65歳以上(2回) 参加者計 22人 65歳未満(2回) 参加者計 11人 (保育利用 無し)			年1回以上の実施
「働き盛り」世代等 への取組	土曜日に実施	土曜日に実施 保育の実施	土曜日に実施、託児 付き(令和4年度は 利用なし)			
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	働き盛り世代への周 知。	働き盛り世代への周 知。	働き盛り世代への周知			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	39	所管課	社会教育課			
事業名	グループサークル団体登録					
事業概要	グループサークル団体の受付・登録を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	登録数	登録数	登録数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
グループサークル 団体登録数 66団体	グループサークル団体登録数 110団体	グループサークル団体登録数 147団体	グループサークル団体登録数 133団体			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	登録をしていない団体への更なる周知が必要	登録をしていない団体への更なる周知が必要	登録をしていない団体への更なる周知が必要			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分ににする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	40	所管課	子ども子育て支援課(児童館)			
事業名	プレイステーション整備・運営(野外活動)					
事業概要	青少年が生き生きと安全に遊べる遊び場として、指定管理者制度により国分寺市プレイステーションの管理・運営を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年間利用者数 10,726人	年間利用者数 18,984人	年間利用者数 22,287人	年間利用者数 25,096人			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	新施設での安定運用	中高生対象とする居 場所作り事業の安定 運用	中高生対象とする居場 所作り事業の安定運用			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分ににする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	41	所管課	スポーツ振興課			
事業名	スポーツ大会開催					
事業概要	各種スポーツ大会を開催する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	主管団体からの実施報告に事業の課題等を記載	主管団体からの実施報告に事業の課題等を記載	主管団体からの実施報告に事業の課題等を記載			
	未実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
7大会(市民体育大会、少年野球大会、少年少女サッカー大会、少年少女バレーボール大会、少年少女バドミントン大会、壮年ソフトボール大会、市民	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、すべての大会が開催中止となった。 ※事業中止に伴いモニタリングも未実施	平成30年度実施の7大会のうち、少年少女バレーボール大会・市民体操祭に2大会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催中止。その他5大会は実施。	当該7大会のすべてを実施した。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により規模縮小。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	施設利用人数制限や接触の多い競技など、新型コロナウイルスの影響により従前の実施方法では困難な事業について実施方法等を検討する必要がある。	施設利用人数制限下では実施が難しい競技もある。その時点の状況下において可能な方法で実施をする必要がある。	競技のすそ野を広げるべく、初心者でも参加しやすい大会となるよう参加条件等を検討する。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-2身体活動・運動		
施策の目標	1日に歩く時間を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	42	所管課	スポーツ振興課			
事業名	スポーツ推進委員によるイベント					
事業概要	スポーツ推進委員により各種イベントを行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	毎月の定例会で事業の 反省と市民の様子を共 有し、課題を抽出する	毎月の定例会で事業 の反省と市民の様子 を共有し、課題を抽出 する	毎月の定例会で事業の 反省と市民の様子を共 有し、課題を抽出する			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
ウォーキング1回、ノ ルディックウォーキン グ1回、サイクルロゲ イニング1回、マイロ ングライフフィットネス 2回、スポレクまつり1 回それぞれ実施	スポレク広場15回、スポレク 広場スペシャルデー1回(ス ポレクまつり縮小版)、ポッ チャ指導3回、放課後子ども プラン活動1回、軽運動動画 の作成・公開 ※新型コロナウイルス感染 症拡大に伴い、多数の事業 が中止となった。	スポレク広場18回、スポレ クまつり1回、ポッチャ指導 3回、放課後子どもプラン活 動3回 ※新型コロナウイルス感染 症拡大の影響もあり、一部 事業は中止となったが、ス ポーツイベントを概ね再開 できている。	スポレク広場24回、ス ポレクまつり1回、 ポッチャ指導3回、 ウォーキング2回、ラン ニング教室1回、サイ クルロゲイニング1 回			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染 症拡大後の新しい生活様 式に合わせた活動内容の創 出、改変が必要。	引き続き現状のペースで、 スポーツ推進委員と調整を しながら、スポーツイベン トを実施する。より多くの 市民に楽しんでいただけ るような、市民ニーズに 合うイベントを企画・実 施する。	引き続きスポーツ推進委員 と調整を行い、スポーツイ ベントを実施する。より 多くの市民に楽しんで いただけるよう、市民 ニーズに合うイベン トを企画・実施する。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分ににする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	43	所管課	高齢福祉課(令和4年度から) 健康推進課(令和3年度まで)			
事業名	地域生きがい交流事業					
事業概要	高齢者がそれぞれの立場から参加し、自ら多様な経験・技術を生かし、さまざまな生きがい活動を実践するため、「生きがい創作・介護予防事業」等を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	各期毎の満足度アンケート(年2回) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1期講座が途中で中止となりアンケート未実施。	各期毎の満足度アンケート(年3回)	各期毎の満足度アンケート(年3回)			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年間延べ参加者数 7,876人	年間延べ参加者数 3,610人 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止、定員削減)	年間延べ参加者数 4,532人 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止、定員削減)	年間延べ参加者数 7,263人			年間延べ参加者数 8,000人以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。	コロナ禍により規模縮小。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を取りながらも、市民の方に安全かつ満足度の高い講座を提供することが直近の課題である。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を取りながらも、定員数の拡充を図り、市民の方に安全かつ満足度の高い講座を提供することが課題である。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を緩和し、徐々に定員数の拡充が図れている。今後も基本的な対策はとりながら、参加者の増加を図っていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分ににする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	44	所管課	健康推進課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-a いきいきセンター管理運営(指定管理)し、市民の健康増進活動の場を提供する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	指定管理モニタリング チェック及び利用者アンケート	指定管理モニタリング チェック及び利用者アンケート	指定管理モニタリング チェック及び利用者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
いきいきセンター団体登録数 32団体	いきいきセンター 団体登録数 32団体	いきいきセンター 団体登録数 33団体	いきいきセンター 団体登録数 33団体			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	施設利用率の向上 40～60歳代の利用率向上	施設利用率の向上 40～60歳代の利用率向上 施設予約システムの円滑な導入	施設利用率の向上 40～60歳代の利用率向上 施設予約システムの円滑な導入			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	44(再)	所管課	スポーツ振興課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-b 市内体育施設を維持管理し、市民に活動の場を提供する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	施設利用者へのアンケート調査	施設利用者へのアンケート調査	施設利用者へのアンケート調査			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症対策及び施設の老朽化対策適切に行い、安全なスポーツ環境を提供する必要がある。	新型コロナウイルス感染症対策及び施設の老朽化対策適切に行い、安全なスポーツ環境を提供する必要がある。	施設の老朽化対策や保守管理を適切に行い、より安全なスポーツ環境を市民に提供する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	44	所管課	公民館課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-c 公民館施設の貸出し					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
24,890件 (身体活動・運動での 内訳利用数は不明)	13,041件 (身体活動・運動での 内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、 4月～6月末まで 休館、以降夜間貸出 中止	15,203件(身体活動・ 運動での内訳利用 数は不明) ※新型コロナウイルス 感染症拡大防止の ため、4月24日～ 6月6日まで休館。4 月～9月は夜間貸出 を中止。	20,981件(身体活動・ 運動での内訳利用 数は不明) ※新型コロナウイルス 感染症対策のため、 体調不良者専用 スペース確保のため 貸出しを中止してい た部屋あり。			25,000件
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れて いる。	コロナ禍により規模 縮小。	コロナ禍により規模 縮小。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染 症対策による臨時休館の ため利用件数が昨年度の 58%に留まった。	新型コロナウイルス感染 症対策による休館のた め利用件数が少ない状 態である。	新型コロナウイルス感染 予防のための活動自粛 や感染症対策による一 部部屋の貸出し中止の ため、年間の利用件数は 元に戻っていない状態 である。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-2身体活動・運動		
施策の目標	1日に歩く時間を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分にする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	44	所管課	地域共生推進課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-d 福祉センターの貸出し。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	指定管理者による利用 者アンケート	指定管理者による利用 者アンケート	指定管理者による利用 者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
3,348件 (身体活動・運動での 内訳利用数は不明)	1,664件(身体活動・運動での内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月末まで休館、以降夜間貸出中止	1,577件(身体活動・運動での内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月25日～6月21日まで休館	2,983件(身体活動・運動での内訳利用数は不明)			3,400件
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。	コロナ禍により規模縮小。	やや取組が遅れている。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染防止に努めながら、利用しやすい環境づくりに向けて指定管理者と協議していく。	施設利用に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染状況等が大きく影響する。引き続き、感染防止対策に留意し、利用しやすい環境づくりに向けて指定管理者と協議していく。	新型コロナウイルス感染症がやや落ち着き始め、利用件数が戻ってきた。今後は、制限が大幅に解除されるが、市民に安心して利用できる環境づくりに向けて指定管理者と協議していく。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分ににする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	44	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-e 地域センター6館及び多喜窪公会堂の集会室等の貸出し。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用率等の把握	利用率等の把握	利用率等の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
全7館で継続して実施	全7館で継続して実施	全7館で継続して実施	全7館で継続して実施			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	適切な施設の管理・運営を行い、引き続き、利用を促進していく。	適切な施設の管理・運営を行い、引き続き、利用を促進していく。	適切な施設の管理・運営を行い、引き続き、利用を促進していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の人の割合 <30～50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組

余暇を楽しく過ごすこと、運動すること、睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに、こころの健康に関する相談体制を充実していきます。

通番	45	所管課	子育て相談室(子ども家庭支援センター)			
事業名	①総合相談 ②フリースキンキング					
事業概要	①0～18歳の子どもの関わる全ての人からの相談を専門職が受ける。 ②日々の子育ての中で聞きたいことや話したいことなど、みんなでおしゃべりしながら交流する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	①実施なし ②利用者アンケート	①実施なし ②利用者アンケート	①実施なし ②利用者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
①各月1回または 適時実施。 ②0歳児対象、テーマ別、パパ対象を各6回実施し、育児相談や友達作りの機会を提供した。	①適時実施 ②0歳児対象4回、テーマ別6回、パパ対象1回実施し、育児相談や友達作りの機会を提供した。	①適時実施 ②0歳児対象10回、テーマ別4回(うち、多胎児交流会2回)、パパ対象4回実施し、育児相談や友達作りの機会を提供した。	①適時実施 ②0歳児対象22回、テーマ別10回(うち、多胎児交流会2回)、パパ対象6回実施し、育児相談や友達作りの機会を提供した。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	①他課との相談の棲み分け。 ②人数制限がある中での対象者を絞ってのフリースキンキングの運営の仕方を、検討を要する。	①他課との相談の棲み分け。 ②コロナ禍で利用が減った0歳児とその保護者の利用を増やすため、0歳児を対象としたフリースキンキングの回数を増やした。	①複合的な相談に対応できるよう、更なる関係機関との連携が必要となる。 ②0歳児を中心に実施してきたフリースキンキングの会について、子どもの成長に伴う子育ての悩みが増えてくる時期の保護者を捉え、悩みを吐き出せる場の提供を検討していく必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の人の割合 <30～50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組	
余暇を楽しく過ごすこと、運動すること、睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに、こころの健康に関する相談体制を充実していきます。	

通番	46	所管課	健康推進課			
事業名	メンタルヘルス講座					
事業概要	メンタルヘルスに関する講座を実施。精神面の気づきのポイントを理解してもらい、心の健康づくりや病気の早期発見・治療に結びつくようにする。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート	参加者アンケート	参加者アンケート			
	未実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
「メンタルヘルス～最新情報を聴いて、なんでも訊いて 解決！」講座実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	メンタルヘルス講座を1回実施 参加者計 5人	メンタルヘルス講座を1回実施 参加者計 6人			2年に1回以上実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	働き盛り世代への周知および市民全体のニーズに合った内容での実施を検討していく。講座形式にかかわる健康教育の実施を検討。	働き盛り世代への周知および市民全体のニーズに合った内容での実施を検討していく。講座形式にかかわる健康教育の実施を検討。	働き盛り世代や子育て世代への周知および市民全体のニーズに合った内容での実施を検討していく。講座形式にかかわる健康教育の実施を検討。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の人の割合 <30～50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組
余暇を楽しく過ごすこと、運動すること、睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに、こころの健康に関する相談体制を充実していきます。

通番	★47	所管課	健康推進課			
事業名	メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」					
事業概要	携帯電話やパソコンによりストレスや落ち込み度を簡単にチェックするもの。それを実施することで、どこに相談に行ったらよいか分かる仕組みになっている。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アクセス数及び チェック結果の把握	アクセス数及び チェック結果の把握	アクセス数及び チェック結果の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
アクセス件数 年間41,092件	アクセス件数 年間17,515件	アクセス件数 年間15,371件	アクセス件数 年間 20,406件			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	携帯電話やパソコン により、手軽に確認 できるようにしてい る。	携帯電話やパソコン により、手軽に確認 できるようにしてい る。	携帯電話やパソコン により、手軽に確認 できるようにしてい る。			
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	周知方法と動機づけ	周知方法と動機づけ	周知方法と動機づけ			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の人の割合 <30～50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組
余暇を楽しく過ごすこと、運動すること、睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに、こころの健康に関する相談体制を充実していきます。

通番	48	所管課	障害福祉課			
事業名	心の健康相談（精神保健相談）					
事業概要	精神科医師による相談。心の問題についての相談や、セカンドオピニオンとしての利用や受診の必要性の確認などを行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標（参考）
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	事後面接・相談	事後面談・相談	事後相談・面談			
	実施	実施	実施			
平成30年度 （現状値）	実 績					令和6年度 目標値（参考）
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （実績値）	
月1回実施。相談者 26人。	11回/年実施 相談者延人数 23人	11回/年実施 相談者延人数 23人	11回/年実施 相談者延人数 20人			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時（令和5 年度）の達成状況
今後の課題	市報やHP掲載の他に、チ ランを配布する機会を工 夫する等相談事業の周知 に努めていく。	市報やHP掲載・チラシ等 を利用し、本人や家族の 他支援者にも事業を活 用していただけるようさ らに周知に努めていく。	本人や家族の他、引き続 き支援者への事業の周 知を行い、当事業を活 用していただけるよう努 めていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の人の割合 <30～50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組
余暇を楽しく過ごすこと、運動すること、睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに、こころの健康に関する相談体制を充実していきます。

通番	49	所管課	健康推進課			
事業名	妊産婦新生児訪問					
事業概要	妊産婦訪問時にEPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)を含む自己記入式質問票を実施し、産後うつ病のスクリーニングや育児不安等、メンタルヘルスについて支援を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	訪問	訪問	訪問			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
産婦訪問実施率 95.5%	産婦訪問実施率 84.7%	産婦訪問実施率 89.5%	産婦訪問実施率 96.0%			産婦訪問実施率 95.0%以上
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	各担当の更なるスキル アップ	訪問率の向上とメンタ ルヘルス支援に関す る支援者のスキルア ップを図る。	各担当の更なるスキル アップ			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-3こころの健康・休養・睡眠
施策の目標	こころの健康のために余暇を楽しく過ごす。 5時間以上睡眠をとるよう心がける。

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
【再】1日の平均睡眠時間が『5時間未満』の人の割合 <30～50代の市民>	11.5%	10%以下	「働き盛り」世代等における睡眠時間について、5時間未満の短い人が減ることを目指す数値
余暇の過ごし方が『充実している』人の割合	20.5%	80%	ほとんどの市民が余暇を充実していることを目指す割合

今後の方向性・取組	
余暇を楽しく過ごすこと、運動すること、睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに、こころの健康に関する相談体制を充実していきます。	

通番	50	所管課	健康推進課			
事業名	ゲートキーパー養成講座					
事業概要	年1回市職員を対象に自殺対策の専門家を講師に自殺対策講座を実施している。 対象を市民や関係機関に拡大し、ゲートキーパーを増やす。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	事後アンケート	事後アンケート	事後アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市職員対象に年1回実施	市職員対象に年1回実施 参加者11人	市職員、親子ひろば スタッフ対象に年1回実施 参加者13人	市職員、民生委員を 対象に年1回実施 参加者15人			年1回以上実施 対象者を拡大
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	周知方法と動機づけ 受講対象者の拡大	受講対象者の拡大	受講対象者の拡大			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-4飲酒
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	17.9%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	19.0%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組

余暇を楽しく過ごすこと、運動すること、睡眠による十分な休養の確保の重要性などについて普及啓発していくとともに、こころの健康に関する相談体制を充実していきます。

通番	46(再)	所管課	健康推進課			
事業名	メンタルヘルス講座					
事業概要	メンタルヘルスに関する講座を実施。精神面の気づきのポイントを理解してもらい、心の健康づくりや病気の早期発見・治療に結びつくようにする。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート	アンケート	アンケート			
	未実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
「メンタルヘルス～ 最新情報を聴いて、 なんでも訊いて 解決！」講座実施	新型コロナウイルス 感染症防止のため中止	メンタルヘルス講座 を1回実施 参加者計 5人	メンタルヘルス講座1 回実施 参加者6人			2年に1回以上実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	働き盛り世代への周知および市民全体のニーズに 合った内容での実施を検討 していく。講座形式にか わる健康教育の実施を検 討。	働き盛り世代への周知および市民全体のニーズに 合った内容での実施を検討 していく。講座形式にか わる健康教育の実施を検 討。	働き盛り世代への周知および市民全体のニーズに 合った内容での実施を検討 していく。講座形式にか わる健康教育の実施を検 討。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-4飲酒
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	35.5%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	46.2%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組	
飲酒の危険性や適切な飲酒量、過度の飲酒における健康への影響に関する知識を普及します。	

通番	51	所管課	健康推進課			
事業名	アルコール個別相談					
事業概要	アルコール依存症の方やアルコールが止められない方の個別相談。					
取組区分の実績	令和2年度 ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和3年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和4年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和5年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 目標(参考) ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	訪問・電話・来所等 未実施	訪問・電話・来所等 未実施	訪問・電話・来所 未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
相談件数1件(健康 推進課) 相談件数12件、関 係機関連絡23件 (障害福祉課)	相談件数1件(健康 推進課) 相談件数13件(障害 福祉課)	相談件数0件(健康 推進課) 相談件数9件(障害 福祉課)	相談件数2件(健康 推進課) 相談件数1件(障害 福祉課)			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	家族・周囲からの相談 や、関係機関と連携した 個別支援となっている。 個別支援における情報提 供。	家族・周囲からの相談 や、関係機関と連携した 個別支援となっている。 個別支援における情報提 供。	家族・周囲からの相談 や、関係機関と連携した 個別支援となっている。 個別支援における情報提 供。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-4飲酒		
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	35.5%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	46.2%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組	
飲酒の危険性や適切な飲酒量, 過度の飲酒における健康への影響に関する知識を普及します。	

通番	★52	所管課	健康推進課			
事業名	両親学級(妊娠中の飲酒のリスクを情報提供)					
事業概要	妊娠中の飲酒による胎児の影響について、リーフレットを配布し、保健師より説明を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート 実施	参加者へのアンケート 実施	参加者へのアンケート 実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年10回実施(土曜日・いずみプラザ) 年1回実施(平日・子ども家庭支援センター)	年8回実施(土曜日・いずみプラザ) うち2回オンライン 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為2回中止。	年16回実施(土曜日・いずみプラザ) うち5回オンライン 年2回(土曜・子ども家庭支援センター)	年15回実施(土曜日・いずみプラザ) 年2回実施(平日・いずみプラザ) 年2回(土曜・子ども家庭支援センター・他市施設)			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組	土曜実施	土曜, オンライン実施	土曜実施			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	継続した取組を実施していく必要がある。	継続した取組を実施していく必要がある。	継続した取組を実施していく必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-4飲酒
施策の目標	特に女性において、飲酒量を下げる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <男性1日2合以上>	35.5%	10%	国の現状値(15.3%)以下を目指す数値
1日に飲むお酒の量が日本酒換算で適量を 超えている人の割合 <女性1日1合以上>	46.2%	7.5%	国の現状値(7.5%)まで下げることを目指す数値

今後の方向性・取組
飲酒の危険性や適切な飲酒量、過度の飲酒における健康への影響に関する知識を普及します。

通番	★53	所管課	健康推進課			
事業名	アルコールによる健康問題に関する情報提供					
事業概要	市報・ホームページ等で、情報提供を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	広い世代に周知するために市報掲載を継続。	広い世代に周知するために市報掲載を継続。	広い世代に周知するために市報掲載を継続。			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
5月1日号市報ヘルスアップ通信内に健康コラム「飲酒に関して考えてみましょう」記事掲載。	6月1日号市報ヘルスアップ通信とホームページに健康コラム「お酒とどのように付きあっていますか？」記事掲載。	6月1日号市報ヘルスアップ通信とホームページに健康コラム「おうち時間が増えています。お酒との付き合い方に困っていませんか？」記事掲載。	両親学級にて、飲酒について保健師講話やクイズを実施。			年1回以上市報、ホームページに記事掲載
「働き盛り」世代等への取組	「働き盛り」世代等が関心を持つ内容を掲載する	「働き盛り」世代等が関心を持つ内容を掲載する	「働き盛り」世代等が関心を持つ内容を掲載する			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	周知の工夫	周知の工夫	周知の工夫			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-5喫煙
施策の目標	国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
『習慣的に喫煙している』人の割合	8.8%	0%を目指す	受動喫煙のリスクを喫煙者が認識し、周囲への配慮や、禁煙行動に移す意識を高める必要があるため目指していく数値

今後の方向性・取組
受動喫煙の危険性やCOPDの周知を行うとともに、禁煙したい方への情報提供を行い、喫煙者を減らしていきます。

通番	★54	所管課	健康推進課			
事業名	喫煙及び受動喫煙のリスクや禁煙外来についての情報提供					
事業概要	市報・ホームページ・パンフレット等にて情報提供を行う。東京都受動喫煙防止条例の制定や健康増進法の改正に沿った周知をしていく。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	情報提供の取組み の実施回数	情報提供の取り組 み実施回数	情報提供の取り組み 実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・市役所庁舎内へ受 動喫煙に関連するポ スターを掲示。 ・市報・ホームペー ジにたばこの影響につ いての知識普及と啓 発記事を掲載。	・市報・ホームページへ たばこの影響、改正健 康増進法の啓発記事を 掲載するとともに禁煙 週間にも関連記事を掲 載。	・市報・ホームページ へたばこの影響、改正 健康増進法の啓発記 事を掲載するとともに 禁煙週間にも関連記 事を掲載。 ・両親学級における啓 発(保健師の話)	・市報・ホームページ へたばこの影響、改正 健康増進法の啓発記 事を掲載するとともに 禁煙週間にも関連記 事を掲載。 ・両親学級における啓 発(保健師の話)			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	両親学級における啓 発の実施	両親学級における啓 発の実施	両親学級における啓 発の実施			
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	改正法及び都条例の周 知を含む望まない受動喫 煙を防止のための普及啓 発	改正法及び都条例の周 知を含む望まない受動喫 煙を防止のための 普及啓発	改正法及び都条例の周 知を含む望まない受動喫 煙を防止のための 普及啓発			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-5喫煙
施策の目標	受動喫煙をしないような環境づくりをすすめる

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
『習慣的に喫煙している』人の割合	8.8%	0%を目指す	受動喫煙のリスクを喫煙者が認識し、周囲への配慮や、禁煙行動に移す意識を高める必要があるため目指していく数値

今後の方向性・取組
受動喫煙の危険性やCOPDの周知を行うとともに、禁煙したい方への情報提供を行い、喫煙者を減らしていきます。

通番	★55	所管課	健康推進課			
事業名	両親学級(妊娠中の喫煙・受動喫煙のリスクを情報提供)					
事業概要	妊娠中の喫煙や、副流煙による胎児への影響について妊婦やその家族に情報提供を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート	参加者へのアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年10回実施(土曜日・いずみプラザ) 年1回実施(平日・子ども家庭支援センター)	年8回実施うち2回オンライン(土曜日・いずみプラザ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為2回中止。	年16回実施(土曜日・いずみプラザ) うち5回オンライン 年2回(土曜・子ども家庭支援センター)	年15回実施(土曜日・いずみプラザ) 年2回実施(平日・いずみプラザ) 年2回(土曜・子ども家庭支援センター・他市施設)			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組	土曜実施	土曜、オンライン実施	土曜実施			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	継続した取組を実施していく必要がある。	継続した取組を実施していく必要がある。	継続した取組を実施していく必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-6歯と口の健康		
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	★14(再)	所管課	健康推進課			
事業名	歯科健診					
事業概要	・妊婦歯科健診:妊婦を対象に口腔内診査・歯みがき相談を実施。 ・乳幼児歯科健診:2歳半頃の幼児及び3歳半頃の幼児を対象に口腔内診査、仕上げみがきや幼児自身の歯みがき、フッ化物塗布(希望者)を実施。 ・成人歯科健診:歯科医師会医療機関にて、20歳以上の市民対象に口腔内診査、相談を実施。 ・高齢者歯科健診:歯科医師会医療機関にて、75歳以上の市民対象に、口腔機能に関する項目を含む口腔内診査、相談を実施 ・口腔がん検診:視診による舌やその他口腔内粘膜の炎症や傷の検査を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	成人歯科健診のアンケート では歯科保健行動につな がる項目をいれている。 妊婦歯科健診は今年度中止	成人歯科健診のアンケート では歯科保健行動につな がる項目をいれている。	成人歯科健診のアン ケートでは歯科保健行 動につながる項目をい れている。			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
受診者 ・妊婦167人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)270人、予防処置 (フッ化物塗布)252人 ・成人900人 ・口腔がん59人	受診者数 ・妊婦0人 ・乳幼児(2歳半3歳半) 182人、予防処置(フッ化 物塗布)175人 ・成人1,070人 ・高齢者568人 ・口腔がん0人 妊婦歯科健診・口腔がん検診は新型コロナ 感染症拡大防止のため中止	受診者数 ・妊婦116人 ・乳幼児(2歳半3歳半) 145人、予防処置(フッ化 物塗布)136人 ・成人1,134人 ・高齢者583人 ・口腔がん0人 口腔がん検診は新型コロナ感染症拡大 防止のため中止	・妊婦114人 ・乳幼児(2歳半3歳半) 132人、予防処置(フッ化 物塗布)122人 ・成人1,273人 ・高齢者844人 ・口腔がん30人			・妊婦170人 ・乳幼児(2歳半3歳 半)270人、予防処置 (フッ化物塗布)250人 ・成人825人 ・高齢者125人 ・口腔がん65人
「働き盛り」世代等 への取組	特定健診対象者への 案内継続 ・30,40,50,60,70歳への 個別勧奨継続	特定健診対象者への 案内継続 ・30,40,50,60,70歳への 個別勧奨継続	特定健診対象者への 案内継続 30,40,50,60,70歳への 個別勧奨継続			
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	受診率向上にむけた周知・ 勧奨の継続及び効果 的な方法の検討 定期的健診の継続の重 要性の普及・啓発	受診率向上にむけた周知・ 勧奨の継続及び方法を 検討 定期健診継続の重要性 についての普及・啓発 歯科医療機関への情報 提供方法や連携の検討	受診率向上にむけた周知・ 勧奨の継続及び効果 的な方法の検討 定期健診の必要性等、 情報提供の場としての 歯科医療機関との協力 体制の仕組みづくり			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-6歯と口の健康		
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める		
指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嗜ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる
今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	56	所管課	健康推進課			
事業名	口腔機能向上健診					
事業概要	40歳以上の市民を対象に健診、口腔機能評価を実施する。また、歯科医師による個別相談と歯科衛生士による健康教育等を併せて実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	歯科保健行動につな がる内容を取り入れ たアンケート	歯科保健行動につ ながる内容を取り入 れたアンケート	歯科保健行動につ ながる内容を取り入 れたアンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
延べ人数252人(健 診・舌圧測定・口腔機 能測定・個別相談)	延べ人数162人(健 診・舌圧測定・口腔機 能測定・個別相談) 新型コロナ感染症拡 大防止のため2回中 止	延べ人数207人(健 診・舌圧測定・口腔 機能測定・個別相 談)	延べ人数238人(健 診・舌圧測定・口腔 機能測定・個別相 談)			延べ人数252人(平成 30年度受診者数以上)
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れてい る。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	中年期以降の世代への、口 腔機能の重要性に関する。 普及・啓発の継続。高齢者 歯科健診受診後の二次検 診の確立。感染予防対策の 徹底とコロナ禍においても必 要な受診ができるように周 知	感染予防対策を図り健 診を実施する。受診者へ の口腔機能に関する知識 の普及・啓発を継続し、 その重要性が理解でき るよう、専門的支援を 行う。	口腔機能の重要性に関 する普及・啓発を継続 し、専門的支援を行う。 フレイルとオーラルフレ イルの関係性を周知し、 かかりつけ歯科医での健 診につなげる。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-6歯と口の健康		
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクター(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組	
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める	

通番	★57	所管課	健康推進課			
事業名	①乳幼児・2歳児歯みがきクラス ②成人歯科保健講座					
事業概要	①歯みがきクラス:乳幼児歯みがきクラスは1歳頃～1歳5か月児とその保護者, 2歳児歯みがきクラスは2歳頃～2歳5か月児とその保護者を対象に, 口腔機能や虫歯予防に関する健康教育と相談を実施。 ②成人:歯科医師等による歯科保健健康教育, 歯科衛生士による実習相談等を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケートに歯科保健行動につながる項目を取り入れている。	アンケートに歯科保健行動につながる項目を取り入れている。	アンケートに歯科保健行動につながる項目を取り入れている。			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・乳幼児歯みがきクラス138組 ・2歳児歯みがきクラス95組 ・成人講座年1回実施	・乳幼児歯みがきクラス77組 ・2歳児歯みがきクラス43組 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各3回中止 ・成人講座年1回実施	・乳幼児歯みがきクラス90組 ・2歳児歯みがきクラス45組 ・成人講座年1回実施	・乳幼児歯みがきクラス104組 ・2歳児歯みがきクラス35組 ・成人講座年1回実施			・乳幼児歯みがきクラス138組以上 ・2歳児歯みがきクラス95組以上 ・成人講座継続して実施
「働き盛り」世代等への取組	2歳児歯みがきクラスは1回/年土曜日開催	2歳児歯みがきクラスは1回/年土曜日開催	2歳児歯みがきクラスは1回/年土曜日開催			
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	ライフステージに応じた正しい知識や情報発信の継続及び方法の検討	新しい歯科保健に関する知識の提供及び情報発信の検討や方法を工夫する。	HP等を活用した, 正しい歯科保健の知識や情報の効果的発信方法の検討			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

通番	58	所管課	健康推進課			
事業名	歯科医療連携推進事業					
事業概要	歯科衛生士が障害者等歯科相談窓口でかかりつけ歯科医を探すことが困難な障害者・在宅要介護者等からの相談を受け、歯科医師会と連携して身近な地域で適切な歯科医療を受けられるよう歯科医療機関の紹介を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	歯科医療連携 講演会でのアンケート	歯科医療連携 講演会でのアンケート	歯科医療連携 講演会でのアンケート			
	未実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)133件 ・歯科衛生士訪問2件 ・歯科医師訪問4件	・相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)117件 ・歯科衛生士訪問4件 ・歯科医師訪問4件	・相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)97件 ・歯科衛生士訪問4件 ・歯科医師訪問2件	・相談及び連絡・調整(障害者等歯科相談窓口含む)103件 ・歯科衛生士訪問2件 ・歯科医師訪問3件			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	医療と福祉の連携の強化 障害者や在宅要介護者等のかかりつけ歯科医の定着	事業の周知方法の検討や関係機関との連携を強化、医療が必要な障害者等を適切な歯科医療機関につなげる。	事業の周知方法に関する検討の継続 障害者施設等関係機関との協力が図りやすい、関係作りへの取り組み。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	59	所管課	健康推進課			
事業名	個別歯科相談					
事業概要	歯科衛生士が電話・面接・訪問により歯と口に関する相談を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	相談後の反応	相談後の反応	相談後の反応			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
延べ件数31件 (電話・面接・訪問)	延べ件数62件 (電話・面接・訪問)	延べ件数59件 (電話・面接・訪問)	延べ件数45件 (電話・面接・訪問)			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	市民の不安を軽減し、より満足度の高い支援を行う為の方法	市民の状況に応じた、適切な支援及びそれを行うための知識の習得	市民の状況に応じた、適切な支援及びそれを行う為の知識の習得や、情報収集の継続。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	60	所管課	健康推進課			
事業名	歯と口の健康週間事業					
事業概要	歯と口の健康週間(6/4～6/10)のうちの日曜日に歯と口の健康に関するイベントを実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	評価指標を項目に入れたアンケート	評価指標を項目に入れたアンケート	評価指標を項目に入れたアンケート			
	未実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
イベント参加延べ人数 479人	新型コロナ感染症拡大防止のため中止	新型コロナ感染症拡大防止のため中止	イベント中止 (同時開催口腔がん検診のみ実施)			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により未実施・中止。	コロナ禍により内容変更。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	コロナ禍において口腔の健康を保つための体験を含む集合イベントは実施が困難。	コロナ禍において口腔の健康を保つための体験を含む集合イベントは実施が困難。	口腔の健康を保つための体験を含む集合イベントを中止し、口腔がん検診のみ実施。今後も状況に応じて関係機関と協議し、集団イベントの実施を検討する。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	4(再)	所管課	健康推進課			
事業名	子どもの歯を守る連絡会					
事業概要	市、関係機関等が連携し「子どもの歯と口の健康づくり」に関する効果的な事業の推進を図るための検討や協議を行う。					
取組区分の実績	令和2年度 ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和3年度 ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和4年度 ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和5年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 目標(参考) ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法と実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診、小中学校等で実施 実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診、小中学校等で実施 実施	評価指標のアンケートを乳幼児健診、小中学校等で実施 実施			
平成30年度(現状値)	実績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(実績値)	
年2回開催	年2回開催(うち1回書面開催)	年2回開催(うち1回書面開催)	年2回開催			年2回実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	活発な情報提供及び情報共有、意見交換の場となるような会の進め方を検討	各関係機関の持続的な情報提供及び情報共有 将来的な市長総合ビジョンと、本会計の整理の検討	現計画指標達成維持のための効果的方法の検討 令和6年度に「健康増進計画」と本会計を統合予定の為、目標設定等整理の検討の継続			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	★15(再)	所管課	健康推進課			
事業名	40歳・60歳検診勧奨事業					
事業概要	節目である40歳及び60歳になる方を対象に、がん検診、歯科健康診査に関する個別通知により受診勧奨を実施。					
取組区分の実績	令和2年度 ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和3年度 ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和4年度 ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和5年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 目標(参考) ■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法と実施	40歳・60歳の受診率の把握 実施	40歳・60歳受診率の把握 実施	40歳・60歳受診率の把握 実施			
平成30年度(現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
40歳勧奨: 発送数 1,731件 60歳勧奨: 発送数 1,449件	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、他検診との合同の勧奨を中止 歯科のみ送付数 40歳: 1,692人 60歳: 1,562人	40歳勧奨: 発送数 1,625件 60歳勧奨: 発送数 1,644件	40歳勧奨: 発送数 1,738件 60歳勧奨: 発送数 1,648件			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組	40歳・60歳の市民に対し個別通知を発送。 必要時パノラレントゲン実施	40歳の全市民に対し個別通知を発送。 必要時パノラレントゲン実施	40歳の市民へ個別勧奨通知を発送。 必要時パノラレントゲン実施(歯科)			
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	受診勧奨通知送付の継続	申込方法の見直し	申込方法の見直し(がん検診)。 勧奨パンフレットの見直し。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-2身体活動・運動
施策の目標	1日に歩く時間を増やす

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
日常生活で歩く時間が、1日『30分未満』の人の割合	26.8%	12.0%	歩いていない人の割合を半分ににする

今後の方向性・取組
少しでも体を動かすこと、時間が無い人でも隙間時間で行える歩くことをはじめとした運動の普及を行います。だれもが気軽に運動に取り組めるよう支援します。

通番	22(再)	所管課	高齢福祉課			
事業名	一般介護予防事業					
事業概要	「介護予防把握事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」「一般介護予防事業評価事業」「地域リハビリテーション活動支援事業」から構成される。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	開催状況把握	開催状況把握				
	実施	実施				
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
地域包括支援センターと健康推進課との共催実施 「介護予防教室」 「家族介護者交流会」において年4回実施	委託地域包括支援センターにて開催 ・転倒予防教室 年3回 ・介護予防教室 年5回 ・家族介護者交流会 年15回 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため介護予防講演会は中止	委託地域包括支援センターにて開催 ・転倒予防教室 年7回 ・介護予防教室 年6回 ・家族介護者交流会 年16回 介護予防講演会実施	委託地域包括支援センターにて開催 ・転倒予防教室 年6回 ・介護予防教室 年6回 ・家族介護者交流会 年18回 介護予防講演会実施			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	多職種連携の介護予防ケアマネジメントを実施すべく、歯科医師や歯科衛生士、リハビリ専門職と連携深めていく必要がある。	介護予防に栄養や口腔関係が重要であることを、市民に幅広く、多職種と連携して伝えていく必要がある。	介護予防に栄養や口腔関係が重要であることを、市民に幅広く、多職種と連携して住民が住民に伝えていく仕組み作りが必要である。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	61	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	歯科健診					
事業概要	61-a 嘱託歯科医師による歯科健診。健診当日欠席した未受診児には嘱託歯科医院を受診してもらい、1か月間は無料で健診を受けてもらう。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	☐ 知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	保護者面談	保護者面談	受診人数 保護者面談			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年1回実施	年1回実施。 (例年6月だったが、 緊急事態宣言にとも ない本年度は9月に 延期し実施した)	年1回実施。(本年度 は6月に実施)	年1回実施。(本年度 は6月に実施)			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	年1回の実施で園児に 歯磨きの大切さを指導 し、歯科の主治医を持 つ方向で保護者への指 導を行う。	年1回の実施で園児に 歯磨きの大切さを指導 し、歯科の主治医を持 つ方向で保護者への指 導を行う。	年1回の歯科健診と合 わせて歯の健康教育を し園児に歯磨きの大切 さを指導、保護者には 歯科の主治医を持つ方 向で普及啓発を行う			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	61	所管課	学務課			
事業名	歯科健診					
事業概要	61-b 小中学校歯科健診の実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	国の調査による把握	国の調査による把握	国の調査による把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年1回実施	年1回実施	年1回実施	年1回実施			年1回実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	学校保健安全法で定められた事業であり、実施していくうえで課題等はない。	学校保健安全法で定められた事業であり、実施していくうえで課題等はない。	学校保健安全法で定められた事業であり、実施していくうえで課題等はない。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-6歯と口の健康		
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「噛ミング30食育推進キャラクター(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組	
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める	

通番	61	所管課	子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)			
事業名	歯科健診					
事業概要	61-c 嘱託医による歯科健診を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	歯科健診及び歯科講座実施回数	歯科健診及び歯科講座実施回数	歯科健診及び歯科講座実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
歯科健診年2回実施 1月に保護者向けに 歯科衛生士による 歯科講座と個別指導を 実施	新型コロナウイルス 感染拡大により年1 回の実施。 歯科衛生士による講座 は時間を短縮し、 講座のみ実施。	歯科健診は年2回実施。 歯科衛生士による 歯科講座については、 感染症防止の観点 から講座のみを実施し、 講座終了後に個別 相談の時間を設けた。	歯科健診は年2回実施。 歯科衛生士による 歯科講座については、 感染症防止の観点 から講座のみを実施し、 事前に質問を募り 回答してもらった。 また個別の相談の 時間を設けた。			年2回継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	歯科健診は継続して実施していく。 歯科衛生士による講座と 個別相談の時間を設ける ようにする。	歯科講座については、 引き続き個別相談の 時間を確保し、確実な 知識習得の機会を確保 する必要がある。	歯科講座については、 引き続き個別相談の 時間を確保し、確実な 知識取得の機会を確保 する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組			
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める			

通番	62	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	ほけんだよりの活用					
事業概要	公立保育園等で作成する「ほけんだより」にかめちゃんぬりえを載せキャラクターの周知と同時に噛むことの重要性を周知。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	おたよりの周知回数	おたよりの周知回数	おたよりの周知回数			
	実施	実施				
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
むし歯予防デーと 合わせて6月号に掲載	むし歯予防デーと合わせて、ほけんだより6月号に掲載。	むし歯予防デーと合わせて、ほけんだより6月号に掲載。	むし歯予防デーと合わせて、ほけんだより6月号に掲載。			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	園児及び保護者に歯の大切さを継続的に周知させて、むし歯を予防していく。	園児及び保護者に歯の大切さを継続的に周知させて、むし歯を予防していく。	園児及び保護者にかむことの大切さを健康教育や保健だより、掲示、ぬりえ等により継続的に周知を図り虫歯を予防していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-6歯と口の健康		
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクター(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組	
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める	

通番	63	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	歯みがき指導					
事業概要	63-a 看護職が年長児に歯みがき指導を実施。幼児には虫歯予防などの保健指導を実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	☒ 知識習得・情報提供 ☒ 意欲の形成 ☒ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☒ 知識習得・情報提供 ☒ 意欲の形成 ☒ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☒ 知識習得・情報提供 ☒ 意欲の形成 ☒ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☒ 知識習得・情報提供 ☒ 意欲の形成 ☒ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	保護者面談	保護者面談	保護者面談			
	実施	実施				
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年1～3回程度実施	9月に歯磨き週間を設けた。2月は緊急事態宣言にともない、歯ブラシの持参はせず、模型を用いて磨き方の個別指導を実施した。	10月に歯磨き習慣を設けた。コロナ流行中のため、チェックシートを用いて朝夕の歯磨きを確認した。また3月の実施では歯ブラシを持参し感染予防のためテラスで指導した。	6月に虫歯予防の保健指導を実施。さらに年長児には10月に歯磨き習慣を設けたチェックシートを用いて朝夕の歯磨きを確認、コロナ流行のため歯磨き指導を模型にて実施。			年1～3回程度実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	歯科健診後、むし歯予防の徹底とむし歯治療の両面から指導に努めていく。	歯科健診後、むし歯予防の徹底とむし歯治療の両面から指導に努めていく。	歯科健診後、むし歯予防の徹底とむし歯治療の両面から指導に努めていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける		
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援		
分野	2-1-6歯と口の健康		
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嘸ミグ30食育推進キャラクタメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組	
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める	

通番	63	所管課	学務課			
事業名	歯みがき指導					
事業概要	63-b 小学校4年生を対象とした歯磨き指導の実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	各学校において、秋 の歯科検診により状 況を確認する	各学校において、秋 の歯科検診により状 況を確認する	各学校において、秋 の歯科検診により状 況を確認する			
	未実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年1回	未実施	年1回	年1回			年1回
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により内容 変更。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染 症拡大防止のためブラッ シングの指導が実施がで きなかった。 学校でのブラッシングの 指導が難しい場合の対応 を検討する必要がある。	コロナ禍により、歯科医に よる歯磨き指導の代わり に、ブラークテスターを配 布し歯垢の染め出し検査 等を家庭で実施した。コ ロナ禍においても、歯 科医による歯磨き指導 が実施できるよう、感 染症対策を含めて実施 方法を検討する必要が ある。	コロナ禍により、当日 の歯磨き練習を家庭で の歯垢の染め出し検査 に変更する等、感染 症対策を徹底して歯 磨き指導を実施した。 引き続きコロナ禍に おいても歯科医による 歯磨き指導が実施で きるよう、感染症対策 を含めて実施方法を 検討していく必要が ある。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	2 健康的な生活習慣を身につける
施策の方向性	2-1すべての人がより良い生活習慣を身につけるための支援
分野	2-1-6歯と口の健康
施策の目標	定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
歯周病の症状がある人の割合	47.0%	37.3%	都の現状値に近づける必要があるため
『歯磨き指導や歯石除去のため、定期的に歯科医へ行っている』人の割合	39.9%	80%	8020を目指し、ほとんどの人がかかりつけ歯科医を持ち、定期的なチェックを実行しているとする数値
国分寺市の「嚙ミング30食育推進キャラクターカメ(噛め)ちゃん」の認知度	14.7%	30%	国分寺市子どもの歯科保健推進計画*の目標値に合わせる

今後の方向性・取組	
歯と口腔の健康やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について一層周知し、むし歯や歯周病による歯の喪失の防止や、口腔内の改善を図るよう支援します。定期的にかかりつけ歯科医に行き、口腔内の改善に努める	

通番	63	所管課	子育て相談室(こどもの発達センターつくしんぼ)			
事業名	歯みがき指導					
事業概要	63-c 昼食後に歯みがきを行うとともに、歯みがきの習慣をつけるプログラムを実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート	利用者アンケート	利用者アンケート			
	未実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
毎日の歯磨き指導を、確実に実施した。	感染防止対策を講じた上で実施した。	感染防止対策を講じた上で実施した	感染防止対策を講じた上で実施した			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	食後の歯磨きについて家庭と連携し、習慣化する必要がある。	食後の歯磨きを習慣化することについて、引き続き家庭との連携を図る必要がある。	食後の歯磨きを習慣化することについて、引き続き家庭との連携を図る必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する
施策の方向性	3-1地域のつながり強化
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について『お互いに声をかけていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組	
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。	

通番	64	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	すくすくこくぶんじ					
事業概要	地域の親子に保育園に来てもらい、予防的観点から健康に関する保健講話を実施。健康相談も実施。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	アンケート	アンケート	アンケート			
	未実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年1回実施	新型コロナウイルス感染症流行のため、未実施。	新型コロナウイルス感染症流行のため、未実施。	年5回計画し実施は4回。コロナ流行のため1回中止			年1回程度
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により未実施・中止。	コロナ禍により規模縮小。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症流行の動向を見ながら、実施可能になった場合には周知方法を工夫しながら継続実施する。	実施可能となった場合は周知方法を工夫し、感染対策を行いながら継続実施。	地域の親子に利用してもらいやすい用に内容・時間帯を工夫する。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声をかけをしていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。

通番	65	所管課	子育て相談室(子ども家庭支援センター)			
事業名	①職場体験 ②センターまつり ③クリスマス会 ④小学生社会科見学					
事業概要	①国分寺市立中学校職場体験受け入れ(各学校2名程度) ②親子参加型のフリーマーケットや、地域活動の一環としてのイベント。ボランティアおよび多世代の交流 ③地域のボランティアによるイベントおよび多世代との交流(午前・午後2回実施) ④第二小学校三年生全クラス参加					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート	利用者アンケート	利用者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
①中学校2校各3日間 ②③④1回実施	①②④新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティアの受け入れを中止。 ③イベントとしての開催ではなく、日常の活動の中で読み聞かせを行うなど、自主グループの受け入れを行った。	①②引き続きコロナ対策により、ボランティアの受け入れを中止。②について、ぶんぶんチャンネルにより広報番組放映を行った。 ③コロナ対策でイベントを分散して開催するなど、日常の活動に近い形で読み聞かせを行うなど、自主グループの受け入れを行った。 ④コロナ対策を講じて受け入れを行い、屋外にて説明を実施。	①引き続きコロナ対策により、職場体験の受け入れを中止。 ②ステージに自主グループの受け入れ、野菜・物品販売、ゲームコーナー等、30名のボランティアを受入れた。 ③コロナ対策でイベントを分散して実施。読み聞かせなど、自主グループの受け入れを行った。(ボランティアによるステージ6名受入れ) ④屋内での施設見学は引き続きできなかったが、屋外にて、施設紹介を行った。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により内容変更。	コロナ禍により規模縮小。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	感染症対策に伴うイベント中止などのため、地域との交流の機会を作ることができなかった。今後、感染症対策を講じた上での地域交流の手法等について、検討していく必要がある。	感染症対策に伴うイベント中止などのため、地域との交流の機会を作ることが少なかった。今後、感染症対策を講じた上での地域交流の手法等について検討し、受け入れを増やしていく必要がある。	コロナ対策により、自主グループやボランティアの活動が減ってきているため、今後は積極的に活動の場の提供を行う必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声をかけをしていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組	
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。	

通番	66	所管課	子育て相談室			
事業名	ファミリー・サポート・センター事業の広報活動					
事業概要	市内の親子ひろばで、事業広報と会員拡大のための登録手続きも合わせて実施する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	親子ひろばでの登録 手続き数	親子ひろばでの登録 手続き数	親子ひろばでの登録 手続き数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年26回実施(3～4 か月児健康診査24 回、親子ひろば2 回)	年2回実施 (新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため健診会 場では実施できず、 24回中止)	年18回実施 (3～4か月健康診 査7回(新型コロナ ウイルス感染症拡大 防止のため、11月ま で中止)、親子ひろ ば11回)	年14回実施 ※参考 産婦・育児相談23 回、児童館3回			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	やや取組が遅れている。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	コロナ禍においても会員 増加が図れるようにする 必要がある。会員数が減 少しており、援助会員の 拡大が必要。	会員増加に向け、効果 的な事業広報の検討 が必要である。	会員増加に向け、効果 的な事業広報の検討 が必要である。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声をかけをしていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。

通番	67	所管課	健康推進課			
事業名	出前講座					
事業概要	67-a 地域の団体からの健康講座の依頼に対して、保健師・栄養士・歯科衛生士が出向いて講座を実施する					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	講座の受講者に対してアンケートを行う	講座の受講者に対してアンケートを行う	講座の受講者に対してアンケートを行う			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年5回実施	年7回実施	(栄養)年7回実施 (保健)年3回実施 (歯科)年4回実施	(栄養)年7回実施 (保健)年3回実施 (歯科)年5回実施			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	引き続き、要望に合った講座の開催をしていく。	引き続き、要望に合った講座の開催をしていく。	市民の要望に合った講座の開催をしていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について『お互いに声をかけていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組	
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。	

通番	67	所管課	保育幼稚園課(保育園)			
事業名	出前講座					
事業概要	67-b 健康推進課の親支援グループ時に保育、手遊び、ふれあい遊びを通して母の不安軽減と母子の愛着促進を促す。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数	実施回数	実施回数			
	実施	実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
月1回実施	月1回実施(新型コロナウィルス感染予防対策のため4～6月は中止) 全9回実施、3回中止	月1回実施(6～7月は申込無しのため未実施) 全10回実施	月1回(全12回)実施			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	地域のつながりを強化する方法を精査し、促していく必要がある。	利用者の発熱等の対応について共有しておく必要がある。	楽しめる内容のものを行い、地域とのつながりとなっていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について『お互いに声をかけをしていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組	
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。	

通番	67	所管課	高齢福祉課			
事業名	出前講座					
事業概要	67-c 健康づくりや介護予防に資する、地域課題に基づいた内容の出前講座を開催する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ■意欲の形成 ■スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	開催状況把握	開催状況把握	開催状況把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
地域包括支援センターと連携して、出張講座を34回実施。	地域包括支援センターと連携して、出張講座を2回実施。	地域包括支援センターと連携して、出張講座を6回実施。	地域包括支援センターと連携して、出張講座を16回実施。			地域包括支援センターと連携して継続
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	依頼者の希望に基づき講座内容を決定するが、健康づくりや介護予防の視点も盛り込みながら事業を実施していく。	高齢者に向けても、デジタル活用の検討が課題である。幅広い世代を取り込み、地域住民同士の取組が必要である。	高齢者に向けても、デジタル活用の検討が課題である。幅広い世代を取り込み、地域住民同士が支え合う仕組みが必要である。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について『お互いに声をかけていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組	
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。	

通番	68	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	自治会・町内会連絡会					
事業概要	協働コミュニティ課で把握している125の自治会・町内会を対象として、連絡調整及び情報提供を行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 ■スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	出席者へのアンケート	出席者へのアンケート	出席者へのアンケート			
	未実施	未実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市内2か所で年3回、 計5回開催(第3回は 講演会形式で1回の み)	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のた め、書面による代替 開催。	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のた め、書面による代替 開催。	市内2か所で年2回、 計3回開催(第2回は 講演会形式で1回の み)。 ※開催回数及び内容 等を見直すため、アン ケートを実施し、その 結果を踏まえ、開催回 数を変更。			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	コロナ禍により内容 変更。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	高齢化により、自治会・ 町内会の運営が困難 になっているため、多 角的な支援の手法につ いて研究していく。	自治会・町内会連絡会 の内容や、開催の在り 方について検討してい く。	自治会・町内会連絡会 の内容や、開催の在り 方について検討してい く。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声をかけていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。

通番	69	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	地域センターまつり(5館)					
事業概要	子どもから高齢者までを対象に地域センターまつりを実施する。ダンスや健康体操などの利用団体が日頃の活動の成果を発表するとともに、地域センターの利用が少ない世代も含め、多世代交流の場とする。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	実施回数等の把握	実施回数等の把握	実施回数等の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
各館年1回継続実施(5館)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により未実施・中止。	コロナ禍により未実施・中止。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	実施主体である利用者協議会との協力体制を維持し、必要な支援を継続していく必要がある。	コロナ禍における市主催事業や他の地域センターまつりの開催状況などの情報を提供し、実施の可否について助言を行っていく。	コロナ禍における市主催事業や他の地域センターまつりの開催状況などの情報を提供し、実施の可否について助言を行っていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-1地域のつながり強化		
施策の目標	地域の中でお互いに声をかけあう。 ボランティアなど興味がある活動に取り組む。		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
お住まいの地域について 『お互いに声をかけていると考えている』人の割合	43.7%	73%	『どちらともいえない』と回答した人が『そう思う』とした数値
『地域活動やボランティア活動等について知らない人』の割合	22.9%	10%	活動について知る人を増やすため、「知らない」人が半減した数値

今後の方向性・取組	
地域福祉計画における「共に支える地域づくり」の視点も考慮し、保健・医療の関係団体などの協力も得て、地域とのつながりを強めながら、健康づくりに一層取り組めるよう支援していきます。	

通番	70	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	地域センターだよりの発行協力					
事業概要	内藤地域センター利用者協議会の広報紙発行に協力し、利用団体の活動を広く地域に紹介する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	■知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	発行回数の把握	発行回数の把握	発行回数の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年1回発行(内藤地域センター利用者協議会) 年4回発行(西町プラザ利用者協議会)	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、地域センターだよりの発行主体である利用者協議会が開催されなかったため、未実施となった。	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、地域センターだよりの発行主体である利用者協議会が開催されなかったため、未実施となった。	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、地域センターだよりの発行主体である利用者協議会の判断により、未実施となった。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により未実施・中止。	コロナ禍により未実施・中止。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	実施主体である利用者協議会との協力体制を維持し、必要な支援を継続していく必要がある。	実施主体である利用者協議会との協力体制を維持し、必要な支援を継続していく。	実施主体である利用者協議会との協力体制を維持し、必要な支援を継続していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	71	所管課	高齢福祉課			
事業名	自主グループとの連携、社協との連携					
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業の中での連携を進める。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	意見交換会にて活動 内容の把握	介護予防推進員連 絡会にて活動内容 の把握	介護予防推進員連 絡会にて活動内容 の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
介護予防に資する住 民運営活動団体を集 めた意見交換会を実 施。	介護予防に資する住 民運営活動団体との 意見交換会を书面開 催にて行った。	介護予防推進員の 連絡会議にて、活動 内容の共有と意見 交換を行った。	介護予防推進員の 連絡会議にて、活動 内容の共有と意見交 換を行った。			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	介護予防・日常生活支援 総合事業の担い手や介護 予防推進員と住民運営活 動団体をはじめとした活動 の場との効果的なマッチ ング方法について検討を進 める。	介護予防・日常生活支援 総合事業の担い手や介護 予防推進員が住民同士の 支え合いにより継続した 介護予防を展開していく必 要がある。	高齢者の生活支援の担い 手や介護予防推進員の活 躍のための、地域の専門 職が関与する仕組み作り が課題である。			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	72	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	地域センター登録団体の管理					
事業概要	地域センター6館を利用する登録団体の情報を管理し、要望に応じて当該団体の了解のもと公開する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	登録団体数等の把握	登録団体数等の把握	登録団体数等の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
随時実施	実施	実施	実施			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	活動する人を増やす手法 の一つである団体情報の 公開について、その形態 や公開を希望しない団体 への対応等を引き続き、 検討する必要がある。	活動する人を増やす手法 の一つである団体情報の 公開について、その形態 や公開を希望しない団体 への対応等を引き続き、 検討していく。	活動する人を増やす手法 の一つである団体情報の 公開について、その形態 や公開を希望しない団体 への対応等を引き続き、 検討していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	73	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	利用者協議会					
事業概要	地域センターの利用団体の交流及び議論の場として開催される利用者協議会に参加・補佐する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 ■仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者協議会の開催回数の把握	利用者協議会の開催回数の把握	利用者協議会の開催回数の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
利用者協議会等を実施した。(5館)	利用者協議会を実施した。(3館)	利用者協議会を実施した。(3館)	利用者協議会を実施した。(3館)			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	コロナ禍により規模縮小。	コロナ禍により規模縮小。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	利用者協議会の機能及び在り方について、研究していく必要がある。	利用者協議会の機能及び在り方について、研究していく。	利用者協議会の機能及び在り方について、研究していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	★74	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	市民活動フェスティバル					
事業概要	地域で活動する様々な市民活動団体の情報を整理・集約し、市民・団体に発信していく。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ■仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ■仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ■仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ■仲間づくり ☐ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	参加者アンケート	参加者アンケート	参加者アンケート			
	未実施	未実施	未実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
年1回開催	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため中止	年1回開催 (令和3年10月9日 から11月5日)	年1回開催 (令和4年10月1日 ～30日)			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組	未実施	未実施	未実施			
各年度末までの 進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により内容 変更。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	コロナ禍においても実施 できるよう開催方法を工夫する。	開催期間を約1か月間 とし、密を避けるために 市内各所で分散型 実施とした。	開催期間を約1か月間 とし、密を避けるために 市内各所で分散型 実施とした。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	75	所管課	スポーツ振興課			
事業名	スポーツ登録団体の管理					
事業概要	スポーツ登録団体の登録・受付を指定管理者が行う。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	指定管理者が窓口で 適宜利用状況等を確認している	指定管理者が窓口で 適宜利用状況等を確認している	指定管理者が窓口で 適宜利用状況等を確認している			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
スポーツ登録団体数 442団体(うち10団体 は平成26年度に小平 市と締結した体育施設 相互利用協定に基 づく登録団体)(平成 30年度末現在)	スポーツ登録団体数 460団体(うち22団体 は小平市と締結した 体育施設相互利用 協定に基づく登録団 体) (令和2年度末現在)	スポーツ登録団体数 474団体(うち35団体 は小平市と締結した 体育施設相互利用 協定に基づく登録団 体) (令和3年度末現在)	スポーツ登録団体数 449団体(うち43団体 は小平市と締結した 体育施設相互利用 協定に基づく登録団 体) (令和4年度末現在)			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	登録後の利用頻度に差 があることから、団体登 録のメリットを周知し、継 続的な団体利用を促して いく必要がある。	登録後の利用頻度に差 があることから、団 体登録のメリットを周 知し、継続的な団体利 用を促していく必要が ある。	団体登録のメリットを 周知し、団体利用を通 じて継続的なスポーツ 活動を促していく必要 がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	44(再)	所管課	健康推進課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-a いきいきセンター管理運営(指定管理)し、市民の健康増進活動の場を提供する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☐ 受け皿づくり	☐ 知識習得・情報提供 ☐ 意欲の形成 ☐ スキルの習得 ☐ 仲間づくり ☒ 受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	指定管理モニタリング チェック及び利用者アンケート	指定管理モニタリング チェック及び利用者アンケート	指定管理モニタリング チェック及び利用者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
いきいきセンター 団体登録数 32団体	いきいきセンター 団体登録数 32団体	いきいきセンター 団体登録数 33団体	いきいきセンター 団体登録数 33団体			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	施設利用率の向上 40～60歳代の利用率 向上	施設利用率の向上 40～60歳代の利用率向 上 施設予約システムの円 滑な導入	施設利用率の向上 40～60歳代の利用率向 上 施設予約システムの円 滑運営			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	44(再)	所管課	スポーツ振興課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-b 市内体育施設を維持管理し、市民に活動の場を提供する。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	施設利用者へのアンケート調査	施設利用者へのアンケート調査	施設利用者へのアンケート調査			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)	3施設 (市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンター、市民室内プール)			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症対策及び施設の老朽化対策適切に行い、安全なスポーツ環境を提供する必要がある。	新型コロナウイルス感染症対策及び施設の老朽化対策適切に行い、安全なスポーツ環境を提供する必要がある。	施設の老朽化対策や保守管理を適切に行い、より安全なスポーツ環境を市民に提供する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	44(再)	所管課	公民館課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-c 公民館施設の貸出し					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
24,890件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明)	13,041件 (身体活動・運動での内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月末まで休館、以降夜間貸出中止	15,203件(身体活動・運動での内訳利用数は不明) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月24日～6月6日まで休館、4月～9月は夜間貸出中止。	20,981件(身体活動・運動での内訳利用数は不明) ※新型コロナウイルス感染症対策のため、体調不良者専用スペース確保のため貸出しを中止していた部屋あり。			25,000件
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	大幅に取組が遅れている。	コロナ禍により規模縮小。	コロナ禍により規模縮小。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館のため利用件数が昨年度の58%に留まった。	新型コロナウイルス感染症対策による休館のため利用件数が少ない状態である。	新型コロナウイルス感染症予防のための活動自粛や感染症対策による一部部屋の貸出し中止のため、年間の利用件数は元に戻っていない状態である。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	44(再)	所管課	地域共生推進課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-d 福祉センターの貸出し。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	指定管理者による利用 者アンケート	指定管理者による利用 者アンケート	指定管理者による利用 者アンケート			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
3,348件 (身体活動・運動での内 訳利用数は不明)	1,664件(身体活動・運動 での内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス感染 拡大防止のため、4月～6 月末まで休館、以降夜間 貸出し中止	1,577件(身体活動・運動 での内訳利用数は不明) 新型コロナウイルス感染 拡大防止のため、4月25 日～6月21日まで休館	2,983件(身体活動・運動 での内訳利用数は不明)			3,400件
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの進捗 状況評価	大幅に取組が遅れている。	コロナ禍により規模縮小。	やや取組が遅れている。			後期終了時(令和5年度) の達成状況
今後の課題	休館や夜間中止が続く 中でも感染防止に努め ながら、利用しやすい 環境づくりに向けて指 定管理者と協議してい く。	施設利用に当たっては、 新型コロナウイルス感 染症の感染状況等が大 きく影響する。引き続 き、感染防止対策に留 意し、利用しやすい環 境づくりに向けて指定 管理者と協議していく。	新型コロナウイルス感 染症がやや落ち着き始 め、利用件数が戻って きた。今後は、制限が 大幅に解除されるが、 市民に安心して利用で きる環境づくりに向け て指定管理者と協議し ていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	3 地域の中で健康づくりを活性化する		
施策の方向性	3-2地域での健康づくり活動の支援		
施策の目標	スポーツ活動や市民活動を行っている団体(人)を増やす		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
—	—	—	—

今後の方向性・取組
団体同士の交流機会の提供や、団体の活動情報の提供・発信など、地域における健康づくりを行う団体の活動を様々な関係機関と連携しながら支援します。

通番	44(再)	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	体育館等個人開放・団体貸出し					
事業概要	44-e 地域センター6館及び多喜窪公会堂の集会室等の貸出し。					
取組区分の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり ■受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用率等の把握	利用率等の把握	利用率等の把握			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
全7館で継続して実施	全7館で継続して実施	全7館で継続して実施	全7館で継続して実施			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	適切な施設の管理・運営を行い、引き続き、利用を促進していく。	適切な施設の管理・運営を行い、引き続き、利用を促進していく。	適切な施設の管理・運営を行い、引き続き、利用を促進していく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる		
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容		
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組	
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	

通番	76	所管課	各課(健康推進課)			
事業名	情報発信					
事業概要	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
取組区分	令和2年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和3年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和4年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和5年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 目標(参考) ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法と実施	情報発信実施回数 実施	情報発信回数 実施	情報発信回数 実施			
平成30年度(現状値)	実績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施	市報掲載件数 121件 ツイッター発信件数 27件	市報掲載件数 118 件 ツイッター発信件数 94 件	市報掲載件数 122件 ツイッター発信件数 53 件 ぶんじ子育てナビ 39 件			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	モバイルサービスの利用状況の分析、情報発信のチャンネルを増加させること	モバイルサービスの利用状況の分析、情報発信のチャンネルを増加させること	モバイルサービスの後継となるアプリの活用や、その利用状況の分析、情報発信のチャンネルを増加させること			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組	
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	

通番	76	所管課	各課(保育幼稚園課)			
事業名	情報発信					
事業概要	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
取組区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	HP掲載回数	HP掲載回数	HP掲載回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市報、ホームページ、 おたよりで情報 発信を実施	市報、ホームページ、 ツイッターで情報発信 を実施 16回実施	市報にて地域交流 のお知らせを配信。 ブログ・ツイッター・ 地域ビラにて情報発信。 (22回実施)	市報にて地域交流 のお知らせを配信。 ブログ・ツイッター・ 地域ビラにて情報発信。 (13回実施)			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	興味を持って継続的に 閲覧するよう、掲載する 情報を工夫していく 必要がある。(児童館)	コロナ感染症の状況を みながら、感染症対策 をし地域交流を実施し ていく。	市報、ホームページ、 ブログなどに興味を もってもらえるような 内容にし、閲覧者や利用 者を増やしていく			

後期計画(令和2～令和5 年度)の取組	後期計画(R2～R5)の 取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組	
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	

通番	76	所管課	各課(子ども子育て支援課)			
事業名	情報発信					
事業概要	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
取組区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	HP掲載回数	HP掲載回数	HP掲載回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
市報、ホームページ、 おたよりで情報 発信を実施	市報、ホームページ、 ツイッターで情報 発信を実施 16回実施	市報、ホームページ、 ツイッターで情報 発信を実施 16回実施	市報、ホームページ、 ツイッターで情報 発信を実施 28回実施			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	興味を持って継続的に 閲覧するよう、掲載す る情報を工夫していく 必要がある。(児童館)	興味を持って継続的に 閲覧するよう、掲載す る情報を工夫していく 必要がある。	興味を持って継続的に 閲覧をしてもらえるよう、 令和4年度には児童館ホー ムページのQRコード付き のポスターを作成した。 今後も広報の仕方を工 夫していく必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる		
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容		
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組	
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	

通番	76	所管課	各課(高齢福祉課)			
事業名	情報発信					
事業概要	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
取組区分	令和2年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和3年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和4年度 ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和5年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 □知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	令和6年度 目標(参考) ■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法と実施	事業の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート) 実施	事業の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート) 実施	事業の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート) 実施			
平成30年度(現状値)	実績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・市報・ホームページで情報を発信・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の発送を行い、情報提供を実施した。	・市報・ホームページで情報を発信・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の発送を行い、情報提供を実施した。	・市報・ホームページで情報を発信・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の発送を行い、情報提供を実施した。	・市報・ホームページで情報を発信・情報提供を希望した地域の団体に対しては、必要時文書の発送を行い、情報提供を実施した。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	地域住民に対する様々な情報発信ツールの活用について検討する必要がある。	地域住民に対する様々な情報発信ツールの活用について検討する必要がある。	地域住民に対する効果的な情報発信ツールと内容について検討する必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる		
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容		
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る		

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組	
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	

通番	76	所管課	各課(子育て相談室)			
事業名	情報発信					
事業概要	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
取組区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	イベントや講習会の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート)	イベントや講習会の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート)	イベントや講習会の参加者へ情報源の聞き取り(アンケート)			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
毎月市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施。また、市内の公共機関・保育所・幼稚園・医師会等でポスター掲示やチラシを配架や配布。	毎月市報、ホームページ、ツイッターで情報発信を実施。	毎月の市報、ホームページ、ツイッターによる情報発信を継続して実施する。	市報やホームページ、ツイッターを活用し、イベントや講座等の情報発信を行った。			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	市民にわかりやすい情報発信を心がける。	市報とホームページを連動させるなど、市民によりわかりやすい情報発信を心がける。	乳児の保護者の情報源は、インターネットの他に、乳幼児全戸訪問事業の助産師、保健師からの紹介が多いが、保健師や助産師に対し、イベントや講座等の広報が不足している部分がある。市民だけでなく、関係各課への情報提供についても、充実させていく必要がある。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。

通番	76	所管課	各課(社会教育課)			
事業名	情報発信					
事業概要	市報、ホームページ、ツイッターなどの情報媒体を使い、対象者に合わせて健康づくりに関する情報を発信していく。若い世代・働き盛り世代に対してインターネットの活用を充実させる。					
取組区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	情報の発信回数	情報の発信回数	情報の発信回数			
	実施	実施	未実施			
平成26年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
ツイッター発信回数 56回	ツイッター発信回数 23回	ツイッター発信回数 13回	ツイッター発信回数 0回			継続して実施
「働き盛り」世代等 への取組						
各年度末までの 進捗状況評価	目標どおり進行して いる。	目標どおり進行して いる。	やや取組が遅れて いる。			後期終了時(令和5 年度)の達成状況
今後の課題	ツイッターを活用し 情報発信を進めていく	ツイッターを活用し 情報発信を進めていく	個人情報に配慮し、各 種媒体によって情報発 信を進めていく。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組	
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。	

通番	77	所管課	健康推進課			
事業名	情報集約					
事業概要	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体、自主グループなどの情報を集約し、市民・団体に発信していく。					
取組区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	事業実施回数	事業実施回数	事業実施回数			
	実施	実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
地区医師会など外部団体の講演会について、募集記事の市報掲載を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区医師会などが例年開催している講演会が中止となり、市報への掲載がなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区医師会などが例年開催している講演会が中止となり、市報への掲載がなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区医師会などが例年開催している講演会は、引き続き中止であったが、東京都肝疾患診療連携拠点病院の講座情報を市報掲載した。			健康づくりに関する活動・団体の情報を整理・集約し、発信
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	評価なし	コロナ禍により未実施・中止。	コロナ禍により未実施・中止。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体、自主グループ等の情報収集	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体、自主グループ等の情報収集	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体、自主グループ等の情報収集・発信の継続			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと

国分寺市健康増進計画 個別事業評価票(令和4年度)

基本目標	4 適切な情報を得られる環境づくりをすすめる
施策の方向性	4-1対象者・年齢層に応じた情報の発信 4-2社会状況やニーズに応じた適切な情報内容
施策の目標	対象者に合わせた情報が行き渡る

指標	H30(現状値)	R6目標(参考)値	考え方
健康づくりや保健医療に関する情報を得ている人の割合	『市広報紙』 24.3%	80%	ほとんどの人が情報を得ている状況と考えられる数値
	『市ホームページ』 2.4%	50%	特に若い世代において、情報を得やすい環境となったと判断できる数値

今後の方向性・取組
市民が必要とする正確な情報を把握・収集し、必要とする市民や地域の団体等に届け、必要な市民や団体が適時受け取ることができる環境を整えていきます。

通番	77(2)	所管課	協働コミュニティ課			
事業名	情報集約					
事業概要	健康づくりに取り組む地域活動団体や食育に関する団体、自主グループなどの情報を集約し、市民・団体に発信していく。					
取組区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標(参考)
	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	□知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり	■知識習得・情報提供 □意欲の形成 □スキルの習得 □仲間づくり □受け皿づくり
モニタリング方法 と実施	利用者アンケート	利用者アンケート	利用者アンケート			
	実施	未実施	実施			
平成30年度 (現状値)	実 績					令和6年度 目標値(参考)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (実績値)	
・こらぼdeサロン(団体交流会)開催 ・こくぶんじ市民活動センター登録団体情報誌発行 ・ホームページで情報発信	・こらぼdeサロン(団体交流会)開催 ・こくぶんじ市民活動センター登録団体情報誌発行 ・ホームページで情報発信	・こらぼdeサロン(団体交流会)開催 ・こくぶんじ市民活動センター登録団体情報誌発行 ・ホームページで情報発信	・こらぼdeサロン(団体交流会)開催 ・こらぼdeカフェ(団体交流会)開催 ・こくぶんじ市民活動センター登録団体情報誌発行 ・ホームページで情報発信 ・Twitterで情報発信			継続して実施
「働き盛り」世代等への取組						
各年度末までの進捗状況評価	目標どおり進行している。	コロナ禍により内容変更。	目標どおり進行している。			後期終了時(令和5年度)の達成状況
今後の課題	様々な媒体を利用し情報発信する。	様々な媒体を利用し情報発信する。	様々な媒体を利用し情報発信する。			

後期計画(令和2～令和5年度)の取組	後期計画(R2～R5)の取組に対する評価	後期計画(R2～R5)の取組手法に対する評価を踏まえ、次期計画に反映すべきこと